

の推 柱進	項 重 目 点	名 取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
健 や か に 過 ご せ る ま ち	健 康 寿 命 を 延 ば す た め の 健 康 づ く り を 進 め る	1 そ れ ぞ れ の 年 代 に 応 じ た 健 康 づ く り	「よこはまウォーキングポイント事業」と運動しながら、ウォーキングをはじめとした運動を日常生活の中で習慣化できる区民を増やします。	歩数計の所持者数 運動を習慣化する区民を増やすための取組	・よこはまウォーキングポイント参加者数10,501人(H28.12/31時点) ・ウォーキング講座開催3回	区福祉保健課	健康ウォーキング事業	保健活動推進員と連携してウォーキング講座等を開催し、地域で健康づくり活動を継続できる取組を支援します。	【健康づくり】 ・健康ウォーキング講座(2回) ・健康づくり講座(6回) ・ヘルスアップセミナー(4回)	【健康づくり係】 地域等における身近で参加しやすい健康づくり事業では、地域ケアプラザなどで、ねらいとしていた40歳代～50歳代の方が参加し、生活習慣や運動などの意識付けや啓発などを実施することができました。 ウォーキング講座では、3年をかけて12地区すべてで開催することができました。
			「バランスよく食べる」「塩分少なめ」「野菜たっぷり」の食習慣づくりを目指します。	講話の実施回数 食習慣づくりの取組	・食生活健康相談実施120人 ・地場野菜をつかった料理教室開催4回	区福祉保健課	食習慣の改善事業	区民のための食事相談を行います。 地場野菜をつかった料理教室を開催します。	【健康づくり】 ・食生活健康相談(月2回) ・地場野菜をつかった料理教室(4回)	【健康づくり係】 食生活等改善推進員(ヘルスメイト)と連携しながら、地場野菜を使った料理教室の実施や地域の防災拠点訓練等で備蓄食品を使ったレシピを紹介するなど食生活の改善の啓発を行うことができました。
			禁煙活動を推進するとともに、子どもの喫煙防止教育を進めます。	禁煙相談者数 こどもの防煙教育への取組	・禁煙相談 2人 ・小学校での喫煙防止教育2校実施	区福祉保健課	健康横浜21推進事業	禁煙を推進するとともに、受動喫煙を避ける環境づくりを進めます。	【健康づくり】 ・生活習慣相談での禁煙相談(月1回) ・イベントにおける禁煙相談(6/2) ・小学校での喫煙防止教室(2校)	【健康づくり係】 世界禁煙デー・食育月間などを合わせた区民ホールでのイベント開催や飯田北いちよう小学校、上飯田小学校において喫煙防止教室を実施し、禁煙や受動喫煙防止の啓発を行うことができました。
			子どもの頃から定期的に歯と口腔の健康チェックを行い、虫歯予防、歯周病予防に取り組みます。	1歳6か月児健診、3歳児健診のう歯罹患率	・1歳6か月児3.4%(H26年度) ・3歳児健診15.4%(H26年度)	区福祉保健課	お口のセルフケア推進事業 -乳幼児健診時の保護者への健康づくり事業	4か月児健診に来所する保護者に対して、自分自身の口腔ケア啓発とむし菌菌の母子感染予防を目的に、個別相談・指導を実施します。	【健康づくり】 ・イベントでの歯科予防等の啓発(1回) ・4か月健診時でのお口のセルフケア(月2回)	【健康づくり係】 乳幼児健診時の保護者等に対する健康づくりの啓発では、母親、父親などに積極的に声掛けしながら相談や歯科予防などの取組を行い、健診に来た保護者の半数以上に実施することができました。 保健活動推進員と連携して、地域での各種イベントなどにおいて、がん検診や生活習慣病予防の啓発を行い、区民に対し健康づくりの意識向上につなげました。
			死因の第1位であるがんについて、がん検診を上手に活用して、早期発見・治療に努める区民を増やします。	3歳児健診時の乳がん啓発の参加者数 乳がん検診受診率	・3歳児健診時の乳がん啓発の参加者数1,229人(H27年度) ・乳がん検診受診率18.4%(H26年度)	区福祉保健課	がん検診啓発事業	生活習慣病である「がん」をはじめとした生活習慣病に関する啓発を行います。	【健康づくり】 ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施(月2回) ・地域のイベント等のがん検診の啓発(随時)	
	2 介 護 予 防 の 推 進	元気なうちから介護予防に取り組む区民を増やすため、講演会やイベントの実施等を通じた普及啓発を図ります。	講演会、介護予防教室等の参加者数	●講演会 ・下和泉住宅自治会館35人 ・泉寿荘24人 ・JA横浜みなみ総合センター25人 ・いずみ野地域ケアプラザ26人 ・JA横浜と共催で認知症予防の講演会58人 ・「脳と体の若返り教室」を含め、介護予防普及啓発事業として計50回・延べ1,810人	区高齢・障害支援課	地域づくり型介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に、介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 介護予防に取り組むきっかけとして、関心の高い認知症予防講演会「脳と体の若返り教室」を実施し、介護予防に必要な幅広い知識の普及啓発をします。また、JA横浜と共催でJA和泉支店にて認知症予防講座を開催し、横浜市立大学と共催で認知症予防講演会を公会堂で開催いたします。	【高齢者支援担当】 脳と体の若返り教室を実施し延べ55人の参加がありました。終了後、地域の活動グループを紹介し介護予防の継続を伝えました。参加者の約半数は既存のグループで活動をしている方ですが、講座は好評で男性の参加者が多い状況でした。 そろばん講座・健康チェックセミナーを追加開きました。そろばん講座は3回延べ49人参加、セミナーは3回実32人が参加しました。大変好評で続けてほしいとの声がありました。そろばん講座については、自宅でできるよう希望者にCDや資料を配布しました。認知症予防講演会は、申込者326人、当日参加者258人でした。アンケートでは、大いに役に立ったと回答した方が78%で、認知症をテーマとした学習の機会を重ねて取り上げてほしいとの意見が聞かれました。 その他、認知症をテーマとした介護予防教室や講座は、関心が高く申し込みが多いので、介護予防の必要性について伝える良い機会となっています。	
		ロコモティブシンドロームの予防を呼びかけ、その防止を実践する区民を増やします。	講座の参加者数	講座4か所・各2回 ・下和泉住宅自治会館55人 ・泉寿荘34人 ・JA横浜みなみ総合センター47人 ・いずみ野地域ケアプラザ67人	区高齢・障害支援課	地域づくり型介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に、介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 「脳と体の若返り教室(運動実践)」他、ロコモ予防のイベント・講座を行うことにより、介護予防の普及啓発に努めます。	【高齢者支援担当】 測定会と運動指導等を併せて実施することで、介護予防に取り組むきっかけづくりを企画しています。「家でもやってみよう」と話す人もいます。また、講演会とロコモ予防のイベントを実施した際は、個別の相談も多く好評でした。	
		健康長寿を目指して、その大切さに気づき、健康づくりを実践するための講座の実施や、グループ活動への支援を行います。	グループの立ち上げ支援 グループ活動の取組事例	【高齢者支援担当】 ケアプラザにて新規6か所 【ケアプラザ】*新規(上飯田)1か所 健好クラブ38回・延535人(新橋)2か所 ・健康畑ひまわり24回・373人 ・ふまねっとサークル24回・延228人(踊場)3か所 ・元気クラブ32回・延766人 ・中村町内会健康麻雀クラブ20回・342人 ・すこやかサロン13回・111人 *継続については、3-1-3参照	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	元気づくりステーション事業	介護予防の必要性和具体的な取組内容について啓発を行う。グループ活動を通し、高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指します。	【高齢者支援担当】 高齢者が、地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指して、元気づくりステーションを立ち上げます。平成28年度までに8か所の元気づくりステーションの活動が始まっており、平成29年度も継続して活動します。住民が主体的に運営し、介護予防の地域の資源となるよう支援します。 【ケアプラザ】住民主体で運営している活動団体が、継続して運営していけるよう支援します。(いずみ中央)「よくばりクラブ」が現在活動中で、住民主体の活動が円滑に継続出来るよう相談・助言を含む後方支援を行います。 (下和泉)元気づくりステーション「健康麻雀クラブ」の会場貸出し運営に関する助言・協力をしていきます。H27年度育成されたふまねっとサポーターとH29年度も共催で講座を実施したりサロン等ふまねっと体験教室を開催していきます。H28年度終了したうた声サポーターの活動支援とサポーターとともにケアプラザでのうた声喫茶の開催したりやサロンに出張して歌をとおして介護予防を広めます。H28年度たちあがったノルデックウォーキングのグループメンバーを増やしていきます。 (新橋)ウォーキンググループの後方支援および、新規講座を開催し、新たな元気づくりステーション候補を育成します。 (踊場)すでに発足している元気づくりステーションの活動が継続的にいけるよう支援していきます。新たなステーションの立ち上げに協力し、地域の介護予防に努めます。 (いずみ野)介護予防の必要性和具体的な取組について地域のサロンや現在行われている自主的グループに対して啓発を行い、元気づくりステーションの立ち上げを目指していきます。	【高齢者支援担当】 8か所の元気づくりステーションについては、企画や運営の助言等必要な支援を継続しています。 介護予防教室をきっかけとして、元気づくりステーション「おはなしポケット」がいずみ野エリアに立ち上がりました。区・いずみ野地域包括支援センターと協力し、介護予防教室をきっかけにした読み聞かせボランティアを育成しました。読み聞かせの技術について学習し、地域の保育園等での活動につなげています。 また、平成30年2月～自主活動を開始しました。読み聞かせボランティアとして活動をしながら、自身の介護予防にもなると楽しんでます。 区・包括で実施している介護予防教室をきっかけとして、平成30年4月から3か所の元気づくりステーションが活動開始の予定です。 【ケアプラザ】住民主体で運営している活動団体の運営支援を行いました(いずみ中央)「よくばりクラブ」が毎月3回活動を継続しました。冬のロコモ予防講座、夏の座式太極拳講座、足指力測定等、様々な活動が円滑に実施出来るよう相談・助言を含む後方支援を行いました。 (下和泉)元気づくりステーション「健康麻雀クラブ」の会場貸出し運営に関する助言・協力をしました。H28年度はふまねっとサポーター協働して連続講座を実施したり、サロン等ふまねっと体験教室を開催しました。H28年度発足した「うた声サポーターズ」の活動支援とサポーターを育成をしました。歌声喫茶は2回開催し、4回出張歌声喫茶を行いました。定例会で検討していった結果、元気づくりステーションとして活動していくことが決まりました。(定例会20回) (上飯田)住民主体のグループ「健好クラブ」の活動を支援しました。新たな発足に向けて支援し、次年度は2グループ発足する予定。(毎週月曜日/年45開催) (新橋)平成28年度に立ち上げた2か所の継続支援を行いました。今年度は安定した開催と参加人数の定着が課題でしたが、問題なく行われました。ただ、リーダーになって下さっている方の悩み事などケアが必要であり、随時対応いたしました。 (いずみ野)区役所が行った介護予防の読み聞かせの講座(7回)終了後、自主的な活動を4か月行い、H30年2月より元気づくりステーション「おはなしぽけっと」として活動開始。月に2回活動し、そのうち1回は保育園で絵本の読み聞かせの活動を行っています。今後も活動が継続してできるように後方支援を行っていきます。	

の推 柱進	項 目 目 点	名 取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
健やかに過ごせるまち	健康寿命を延ばすための健康づくりを進める	認知症の予防・早期発見	認知症の正しい理解、予防のための生活習慣についての啓発を進めていきます。	講演会の実施、参加者数	1回・250人	区高齢・障害支援課	認知症啓発講演会	認知症についての正しい理解を図り、予防の大切さと、地域の支え合いの気持ちを醸成します。	【高齢者支援担当】 認知症の正しい理解と、対応方法について区民を対象に認知症講演会を開催します。その際、地域包括支援察ターなど、認知症に関する相談先を周知します。	【高齢者支援担当】 横浜ほうゆう病院の協力を得て、認知症講演会を開催し実際の対応等を学びました。パネル展示でオレンジカフェ等について案内できました。
			認知症の予防活動を地域で広める活動を行う。脳若返り隊を養成し、活動を支援します。 →認知症の理解、予防の普及啓発活動を支援します。	活動支援のための取組 脳若返り隊員数	【高齢者支援担当】 講演会 43人参加 【ケアプラザ】*脳若返り隊員数 (下和泉)区と共催 9人 (上飯田)20人 (新橋)15~18人	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	健康長寿地域人材育成(脳若返り隊等) →地域づくり型介護予防事業 認知症支援事業	脳と体の若返り教室、認知症予防講演会を実施します。	【高齢者支援担当】 地域で高齢者の介護予防の普及啓発のため脳と体の若返り教室等を開催します。市大と共催の認知症予防講演会を開催します。 【ケアプラザ】認知症の予防に向けた講演会の実施や必要な情報提供を行います。 (いずみ中央)脳若返り隊員にむけて、必要な方に、地域ケアプラザ開催の介護予防事業や認知症予防講座等を周知し、情報提供を行います。 (下和泉)サロンのボランティア、地域の運動指導者のスキルアップ研修、連絡会を開催しケアプラザとの連携を強く運営支援をしていきます。 (上飯田)地域で活動している脳いき教室の活動を支援します。キャラバンメイトと協力して認知症サポーター養成講座を開催します。 (新橋)介護予防グループ連絡会を開催し、各グループの情報交換を行うとともに、脳若返り隊員等地域リーダーの支援を行います。 (いずみ野)脳若返り隊のスキルアップ研修や新規育成講座の開催支援を行います。	【高齢者支援担当】 脳と体の若返り教室を実施し、延べ55人の参加がありました。終了後地域の活動グループを紹介し介護予防の継続を伝えました。参加者の約半数は既存のグループで活動をしている方ですが、講座は好評で男性の参加者が多い状況でした。 認知症予防については介護予防事業で併せて実施しました。 区・包括でキャラバン・メイトを支援して実施したサポーター養成講座を49回実施し、2,422人参加されました。 (いずみ中央)認知症への理解のため、キャラバンメイトの方と協力し認知症サポーター養成講座を開催しました。 (下和泉)地域の体操指導者と共催してふまねっと運動と男性の体操教室の連続講座を実施し、介護・認知症予防に努めました。 認知症の早期発見と理解啓発、情報提供、相談の機会として「ほかほかサロン」を開始しました。認知症型グループホームなどで6回開催。地域のボランティア団体や民間企業とも連携しました。 (上飯田)サロンのボランティアや担い手のスキルアップ研修・連絡会を実施しました。脳いき教室の活動支援を行いました。(認知症サポーター養成講座年11回開催) (いずみ野)認知症の予防のレクリエーション スリーAの講座を開催し、月に1回サークル活動を行っています。自主的な活動ができるようにボランティアの養成講座を開催し、地域でできるように支援をしています。 (新橋)介護予防グループ連絡会を開催しました。情報交換を行うまでには至りませんでした。連絡会の必要性をグループリーダーの方へお伝えする事ができました。今回はグループに持ちかえって介護予防の知識として伝達できる内容を研修として行い、参加者からは勉強になったとの声をいただきました。 専門医から認知症支援講座を受け、50名が参加。早期発見のシステムとして認知症カフェの立ち上げボランティアが10名程度集まり、4月から月1回定例開催となります。 (いずみ野)認知症の予防のレクリエーション スリーAの講座を開催し、月に1回サークル活動を行っています。自主的な活動ができるようにボランティアの養成講座を開催し、地域でできるように支援をしています。
			認知症の早期対応のため、専門医等による相談対応を行います。	相談件数	【高齢者支援担当】 *精神科医による物忘れ相談件数 21人 【ケアプラザ】 *認知症等に関する相談件数 (いずみ中央)106人 (下和泉)延べ314人 (新橋)3人 (踊場)34人 (いずみ野)8人	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	物忘れ相談	精神科医師による認知症等に関する相談を行い、早期発見・治療につなげます。	【高齢者支援担当】 今年度も精神科医による物忘れ相談を月に1回実施して、対象者を適切に早期対応・受診などにつなげることができました。 (いずみ中央)早期受診につながるよう、必要な方に「物忘れ相談」に関する情報提供を行いました。それと同時に認知症サポーター養成講座等を通じ早期発見が重要であることや認知症の理解を地域に広めました。 (下和泉)総合相談やケアマネジャー支援において認知症等の早期発見早期診断につながるよう、物忘れ相談及び認知症の診断を行う医療機関の情報提供や受診支援を行いました。今年度発足した泉区認知症初期集中支援チームのチーム会議に出席し、事例提出を行い各専門職からの助言をもとに支援を行いました。認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の正しい理解と早期発見の意義を地域に発信しました。 (上飯田)総合相談や地域住民からの相談で、早期発見につながるよう必要な方に情報提供しました。 (新橋)総合相談で必要なケースで活用しました。 (踊場)地域住民からの相談や総合相談で、早期発見につながるよう必要方に「物忘れ相談」等の情報を提供しました。 (いずみ野)相談件数94件。認知症状の方の関係者などからの相談に真摯に対応し、必要に応じて訪問するなど、関係づくりに努めました。	
安心して暮らし続けられる環境をつくる	利用しやすい相談窓口体制の推進	相談件数	・ひろば相談 2,059件 ・利用者支援事業 159件	区こども家庭支援課	地域子育て支援拠点事業	未就学児とその養育者の居場所、相談、情報提供、さらに地域で子育てを応援している人のネットワークや人材育成を行っています。	【こども家庭支援課】 拠点「すきっぷ」が持つ7つの役割・機能(ひろば、子育て相談、子育て情報収集・提供、子育てネットワークづくり、人材育成・活動支援、横浜子育てサポートシステム、利用者支援事業(横浜子育てパートナー))を最大限発揮させることにより、相談できる体制を整えるとともに、様々な媒体を活用してPRしていきます。	【こども家庭支援課】 区内の保育園・認定こども園・幼稚園を紹介する事業「いずみっこひろば」にて、相談を含めた拠点の役割や機能を紹介する場の提供を行いました。 また、「こんにちは赤ちゃん訪問」時に同じく、拠点の機能・活動等掲載している「すきっぷ通信」を配布しました。		
		より多くの場所で専門的な相談を受け止める体制づくりや相談窓口の周知を進めます。	相談件数	548件 (H28年1月末時点)	区こども家庭支援課	子ども・家庭支援相談	乳幼児期から学齢期までの悩みごとに、保健師・保育士・学校カウンセラー・教育相談員などが幅広く相談に応じます。	【こども家庭支援課】 早期の相談により、問題を拡大させず適切な支援を行っていくために「子ども・家庭支援相談」のリーフレットを作成し、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の保護者に配布することを通じて、相談窓口をPRしていきます。	【こども家庭支援課】 早期の相談により、問題を拡大させず適切な支援を行っていくために「子ども・家庭支援相談」のリーフレットを作成し、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の保護者に配布することを通じて、相談窓口をPRしていきます。	
		相談件数	469件 【常設園のみ】	区こども家庭支援課	保育所地域子育てひろば事業	施設の地域開放、子育て相談、育児講座、園児との交流保育等の実施をします。	【こども家庭支援課】 家庭で保育を行っている保護者を対象に、施設の地域開放や育児講座に併せ、子育て相談を実施します。また、保育所地域子育てひろば事業についてのPRを随時行っていきます。	【こども家庭支援課】 施設開放、子育て相談等を通じ、多くの保護者(養育者)への育児支援を行いました。		

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
1 健やかに過ごせるま ら	2 安心して暮らし続けら れる環境をつくる	1 利用しやすい相談窓 口体制の推 進	様々な相談に対応できるよう、関係 機関の職員等を対象とした研修会等 を開催し、相談対応者の対応能力の 向上を図ります。	研修の企画・実施の実施 回数	【高齢者支援担当】 3回 【ケアプラザ】 *区内包括合同新任ケアマネ研修3回 (いずみ中央) 主任ケアマネジャー研修3回 (下和泉) 主任ケアマネジャー向け勉強会2回 (上飯田) ケアマネジャー研修2回 (新橋) アセスメント研修3回 (踊場) 主任ケアマネジャースキルアップ研修2 回	区高齢・障害支 援課 地域ケアプラザ	新任ケアマネジャー研修 主任ケアマネジャースキル アップ研修	関係機関職員を対象にした研修を実施す ることで、相談職員のスキルアップを図り ます。	【高齢者支援担当】 29年度は、地域包括支援センター主任ケアマネジャーと連携し、区内の新人・新任ケアマネ ジャーを対象とした研修を実施し、ケアマネジャーのスキルアップを図ります。また、ケアマネ 向けに6包括合同で研修を4回開催します。 【ケアプラザ】新任ケアマネジャー、主任ケアマネジャー向けに、研修を企画・実施します。 (いずみ中央)新任ケアマネジャーには、介護保険・保険外サービスの基礎などについての 「新任ケアマネジャー研修」を、包括合同で実施します。主任ケアマネジャーに対しては、新任 ケアマネ研修時の指導やケアマネ連絡会での講師などの役割を担うことで、スキルアップが 図られるよう支援します。 (下和泉)区内包括と合同で新任ケアマネ研修を実施します。実習については地域の居宅介 護支援事業所の主任ケアマネジャーの協力を得て実施します。(計3回予定) (上飯田)地域の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーと協働し、区内で活動するケア マネジャーの質の底上げを図ります(個別に年1回程度)。 (踊場)区内の包括支援センターと合同で、新任ケアマネジャーに対する研修を行い、日頃の 業務に活かせるよう支援します。区役所と合同で主任ケアマネジャー研修を開催します。 (いずみ野)主任ケアマネジャーと協働し、区内包括合同で新任ケアマネ研修を実施します。	【高齢者支援担当】 予定通り新任ケアマネジャー向け研修を実施しました。施設見学も実施し、好評でし た。 6包括合同での研修も5回、予定以上に実施出来ました。特に追加で実施した事例検 討会は好評でした。 (いずみ中央)新人ケアマネジャー研修を区内包括合同で3回実施。エリア内ケアマネ連 絡会で、主任ケアマネジャーを講師として勉強会を実施。スキルアップにつながるよう、 支援を行いました。 (下和泉)区内地域包括支援センターと合同で新任ケアマネジャー研修を実施しまし た。3日目の個別実習はエリア内の居宅介護支援事業所に所属する主任ケアマネ ジャーの協力で実施しました。 (上飯田)新任ケアマネジャーに、区内の包括合同で3回にわたる研修を開催しました。 新任のケアマネジャーが、エリアにある居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーに ついて実習を行いました。主任ケアマネジャーに対しては、ケアマネジャー向けの研修 と一緒に企画し、講師等を務めてもらうなど地域のケアマネジャーの指導的な役割を果 たしてもらいました。 (新橋)6包括合同で新人ケアマネ研修を3日間行いました。内容は、【ケアプラザの役 割・権利擁護】【介護保険外サービスについて】【区社協の役割】講義、施設見学 (4か所)で、後方支援を行いました。 (いずみ野)区内の主任ケアマネジャーと協働し、区内包括合同で新任ケアマネ研修を 開催しました。
			様々な相談に対応できるよう、関係 機関の職員等を対象とした研修会等 を開催し、相談対応者の対応能力の 向上を図ります。	連絡会・研修会の実施回数	(いずみ中央) 12回 (下和泉) 11回(区内包括合同含) (上飯田) 12回 (新橋) 10回 (踊場) 10回 (いずみ野) 2回	地域ケアプラザ	包括エリアのケアマネジャー 連絡会 新任ケアマネジャー支援研修 等の開催	介護保険ケアマネジャーを対象とした情 報共有、スキルアップの研修を企画・実施 します。	【ケアプラザ】包括エリアのケアマネジャー連絡会の開催や新任ケアマネジャー向けの研修を 行います。 (いずみ中央)ケアマネ連絡会を区内包括合同を含め、月1回開催します。制度、医療、地域、 事例検討など、地域で活動するケアマネジャーに必要な内容で企画実施していきます。アン ケートを実施して各事業所のケアマネジャーの状況を把握し、個々のケアマネジャーに合わせた 個別支援を行います。 (下和泉)区内包括合同ケアマネ連絡会・ケアマネフォンテ(区CM連絡会)、ケアプラザエリア のケアマネ連絡会を計10回開催します。 (上飯田)エリア内で活動するケアマネジャーに対し、勉強会・事例検討・情報交換会等を概ね 隔月(区内合同開催含む)行います。また、民生委員との交流会を企画し地域住民との意見交 換の場を定期的に設けます。 (新橋)5包括で協力し、研修と講座を行います。主任ケアマネジャー連絡会の後方支援を行 います。 (踊場)エリア内で活動するケアマネジャーのスキルアップを目的に、勉強会、事例検討会、 情報交換会を年10回開催します。 (いずみ野)エリア内の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーと協働で、勉強会や事例 検討会を開催し、ケアマネジャーのスキルアップを図ります。	(いずみ中央)ケアマネ連絡会を区内包括・エリア内共催で、年11回実施。虐待・ケアマ ネ業務・認知症・精神疾患・事例検討、などについて行いました。 (下和泉)区内包括合同にて2回、区内包括・ケアマネフォンテとの合同にて1回、エリ ア内連絡会を4回実施しました。エリア内連絡会では、ケアマネのスキルアップのため に事例検討会を行い、事例の提出やグループの進行役等を出席したケアマネに担当し てもらいました。ケアマネ連絡会と生活支援Co主催のサロン連絡会を合同で開催し地 域の社会資源を紹介しました。また、民生委員との交流会では民生委員と交流、意見 交換ができました。 (上飯田)さまざまな相談に対応できるようスキルアップをはかるため、ほぼ1か月に1 回の割合で、事例検討会や研修会、民生委員との情報交換会を開催しました。 (新橋)「街の駅 ケアマネサロン」を5回開催しました。合同ケアマネ連絡会の開催に協 力しました。ケアマネフォンテと連携し講座開催に協力しました。 (踊場)エリア内で活動するケアマネジャーのスキルアップを目的に、勉強会、事例検討 会、情報交換会を行いました。今年度はケアマネジャー自身に焦点を当て、セルフケア やマネ研修等を行いました。また、ケアマネジャーから日頃の活動の疑問点等を 拾い上げるための情報交換会を行いました。新任ケアマネジャーに対してはエリア内 の主任ケアマネジャーと同行訪問ができるよう調整しました。 (いずみ野)エリア内の居宅事業所の主任ケアマネジャー3名と協働で勉強会を開催。そ の他に月に1回勉強会(記録の書き方、認知症について、精神疾患の理解)を開催しま した。ケアマネジャーのスキルアップを図ってきました。また、民生委員との交流会を2 回開催し、薬剤師からの話と虐待について、意見交換をしました。
			公的サービスの相談だけでなく、 様々なニーズに対応できるよう、イン フォーマルサポートやボランティア活 動等のサービスの仕組みづくりを進 めます。	仕組みづくりの取組	・地域ケア会議参加6回 ・協議体6回 ・地域支援会議6回	区社協	身近な地域のつながり・支え 合い活動の推進	ボランティアセンター、あんしんセンター、 移動情報センター等で相談を受けると共 に、把握した個別のニーズを地域のイン フォーマルサービスにつなぐ仕組みづく りを進めます。	【区社協】 2層生活支援コーディネーターが作成した、「地域活動・サービスリスト」を、ボランティアセン ター、あんしんセンター、移動情報センター等で相談を受けた際に、インフォーマルサービスの みならず、サロンや体操教室に結び付けられるよう、2層コーディネーターに生活支援情報提 供を積極的に行います。	【区社協】 「地域活動・サービスリスト」が市域でシステム化された事により、交流・居場所、生活 支援などの各項目の整理を行いました。情報共有は区社協内で進めるとともに、ケア マネジャーにサロン等の提供をし、ケアプランに位置付けられた件数は1件ありました。 引き続き、2層コーディネーターを中心にケアマネジャー等にインフォーマルサービスの 活用をPRし、積極的に活用してもらうよう働きかけます。
		2 妊 娠 期 か ら の 切 れ 目 の な い 子 育 て 支 援	養育者が安心して子育てできるよ う、母子健康手帳交付や、乳幼児健 診等の機会を活用し、適切な支援に つなげます。	母子訪問時の養育チェッ クシートの活用件数 相談対応を事業に活かし ていく取組	465件	区こども家庭支 援課	早期養育支援事業	母子訪問時に養育チェックシートを用いて 聞き取りを行い、母親のきめ細かな心理 状態の把握を行い、支援につなげます。 29年度夏頃に泉区にモデル配置される母子保健コーディネーターとの連携による切れ目の ない支援に取り組みます。	【こども家庭支援課】 母子訪問時の養育チェックシートの活用をさらに推進することで、育児不安を抱える母親を早 期に把握し、必要に応じて保健師による訪問・連絡等の継続支援につなげます。 また、8月からモデル配置された母子保健コーディネーターとの連携を図りながら、妊 娠期から生後4か月頃までの相談支援の充実に取り組みました。	
			養育者の多様な保育・教育ニーズに 対してきめ細かな相談、情報提供等 を行います。	相談件数	1,153件 (～H29.2月)	区こども家庭支 援課	保育・教育コンシェルジュ	保護者のニーズと必要な保育・教育サー ビスを適切に結びつけるためのきめ細や かな相談、情報提供等を、保育・教育コン シェルジュが行います。	【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュによる、保護者のニーズと必要な保育・教育サービスを適切に結び つけるため、区役所の窓口だけでなく、「いずみっこひろば」での相談をはじめとした出張相談 を行います。	【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュが出張相談を行うことで、小さなお子さんを抱える保護者が 区役所まで足を運ばなくても、保育園、幼稚園の相談が出来る環境を作ることができま した。
			新入生とその保護者が小学校入学 による生活や環境の変化にスムー ズになじめるよう、保育園・幼稚園・ 認定こども園・小学校・放課後キッズ クラブ・放課後児童クラブ等の相互 連携をさらに進めていきます。	連携して行った取組	(幼・保・小教育交流事業) 園長校長会・実践交流会(2月)	区こども家庭支 援課	まちの学校連携推進事業 放課後児童育成事業 保育施設等との協働による子 育て支援推進事業 幼・保・小教育交流事業	泉区内の放課後キッズクラブ、はまっ子 ふれあいスクール・放課後児童クラブの 運営を支援し、児童の安全で健やかな放 課後の居場所を提供します。 ※その他、保育園・小学校の情報交換な どを適宜支援	【こども家庭支援課】 幼稚園・保育園・小学校の交流事業である園長・校長会、実践交流会の開催を支援するとと に、必要に応じて個別の情報共有・連携の取組の支援を行います。	【こども家庭支援課】 30年2月19日に幼・保・小教育交流事業として園長校長会・実践交流会が開催され、 保育園・幼稚園と小学校との間での情報交換が行われました。
			孤立や疾病等による育児不安から 児童虐待につながるリスクを減らし、 有効な支援につなげるために、広報 や講演会等による啓発を進めていき ます。	啓発の取組実績	5回	区こども家庭支 援課	児童虐待防止啓発地域連携 事業	地域と連携した児童虐待防止に関する広 報・啓発事業を実施します。	【こども家庭支援課】 区民まつりやチャリティコンサートなど地域住民向け行事をとらえて啓発リーフレットの配付 を行うほか、広報への啓発記事の掲載等を行います。	【こども家庭支援課】 区民まつりやチャリティコンサートで啓発リーフレットの配付や広報11月号への啓発記 事の掲載などのほか、今年度は新たに市営地下鉄立場駅・中田駅での啓発パネル展 示に取り組みました。 また、民生委員・児童委員や幼稚園、医師会に対し、児童虐待対応に関する啓発講座 を実施しました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
1 健やかに過ごせるまち	2 安心して暮らし続けられる環境をつくる	3 住み慣れた地域で安心して暮らせるための仕組みづくり	高齢者や要介護者が在宅で継続的な医療・介護を受けることができる仕組みづくりを進めます。	在宅医療連携の取組	—	区高齢・障害支援課	在宅医療連携推進事業	区医師会と連携して、医療機関と介護サービス提供機関相互の連携の強化を進めます。	【区高齢・障害支援課】 ①多職種連携会議 6月・9月・12月・2月・3月に実施予定。 ②事例検討会 7月・10月・2月に実施予定。 ③人材育成研修 11月に実施予定。 ※詳細な内容については調整中。区の役割は①～③が運動し、多職種協働となっていくよう医療相談室と協働して、情報把握・企画をしていくことが役割となっています。	【区高齢・障害支援課】 ①多職種連携会議 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた泉区高度連携指針に医療介護・関係者の意見を反映させることを第一目標に6月・9月・12月に検討会議を実施。医師会を始め、医療・介護に関わる職能団体の代表者が集まり、在宅医療・介護連携について課題を整理しました。取り組むべき優先順位等について意見交換し、今後の取り組みの方向性を共有することになりました。 ②事例検討会 職種を超えて知識や意識の共有を図ることを目的に、泉区医療相談室と各職能団体がコラボレーションし、研修会を7月・10月・2月に実施。訪問看護ステーション、ケアマネジャー、デイサービスそれぞれの連絡会から事例を提出していただき、終末期の看取り、デイサービスの特色、医療の介入・継続について多職種でグループワークを行い認識を深めることができました。 ③人材育成研修 12月に実施。医師、歯科医師、薬剤師を始め、多職種でのグループワークを行い、入退院において、医療職と介護職の連携における情報共有と留意点について現状と対応について理解を深めることができました。 ④市民向け講演会 病院以外の場所で療養や看取りが可能であることを広く区民に普及することを目的に市民向け講演会を2月に実施しました。「最期まで自宅で住み続けるための方法と準備」として、在宅医療に精通した医師に講演いただきました。市民200名程度 参加があり、盛況でした。
			地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な支援を受けられるよう、見守り事業や相談等を行います。	見守り事業の実施者数 見守りからつながりができた取組	5,380人(対象者数)	区福祉保健課	ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業	地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な支援を受けられるよう、見守り事業や相談等を民生委員、包括支援センターと連携して行います。	【運営企画係】 民生委員及び包括支援センターに対して、75歳以上のひとり暮らし高齢者について行政が保有する個人情報を提供することにより、支援を要する人を効果的に把握できるよう支援します。把握した状況に応じて、相談支援や地域における見守り活動等に的確につなげられるよう、民生委員、包括支援センター、区福祉保健センターが情報共有しながら取り組みます。	【運営企画係】 対象者全体数5,725人のうち、訪問対象者(民生委員・包括・区で状況を把握していない方)が797人で、754人の方と面会できました。面会した方のうち、新たに190人の方を相談支援や見守り活動等につなげられました。
			認知症など的高齢者を介護する人が孤立しないよう、介護者の集い等を行います。	集いの実施内容	(いずみ中央) 6回・37人 (下和泉) 富士見が丘地区社協と共催2回・13人 (新橋) 12回・120人 (踊場) 12回・81人 (いずみ野) 2回・11人	地域ケアプラザ	介護者のつどいの開催	高齢者を介護する人の情報交換・交流の機会を図ります。	【ケアプラザ】介護者同士の交流や情報交換ができるよう、介護者のつどいを開催します。(いずみ中央)介護者のつどいを2か月に1回開催します。(4月、6月、8月、10月、12月、2月の予定)茶話会だけでなく施設見学会や参加者のご要望に応じたミニ勉強会を企画実施します。 (下和泉)地区社協と共催で2回実施します。 (新橋)概ね月1回程度開催し、情報交換と専門職からの情報提供を行い、虐待等の未然防止に努めます。 (踊場)介護している方、経験者の方と交流できる時間が持てるようし、介護者が孤立しないように支援します。月1回定例で開催します。 (いずみ野)介護者のつどいを2ヶ月に1回、いずみ中央と共催で開催します。(4月、6月、8月、10月、12月、2月の予定)	(いずみ中央)いずみ野地域包括支援センターと共催で介護者のつどいを2か月に1回開催しました。新規の方5名の参加がありました。 (下和泉)地区社協主催の介護のつどい(年2回)の開催支援を行いました。今年度は個別の声かけ等工夫しましたが参加者数が少ないことは課題であることを踏まえ、ケアプラザにおける開催については次年度に男性介護者の抱え込みの課題を視野に内容を検討します。 (上飯田)介護者の集いを開催しました。また、認知症の勉強会では関わり方について学び、介護者同士の交流では情報交換を行いました。インフォーマルサービスの情報提供では試食サービスの試食会を行い、介護疲労の軽減に役立つなどの声が聞かれました。 (新橋)概ね月1回開催しました。平均6名～8名の参加がありました。毎回ゲストスピーカーを呼び、介護の情報や、悩みごとへ助言を行いました。 (踊場)毎月第一水曜日に介護者懇談会を開催しました。現在介護をしている方と介護経験者が交流できる時間が持てるようし、介護者が孤立しないように支援してきました。 (いずみ野)いずみ中央ケアプラザと共催で2ヶ月に1回(偶数月)定例で開催し、介護者が孤立しないように支援をしました。
			経済困窮等、生活していくことが困難になっている人に、継続的な生活の安定・自立を目指した支援を行います。	自立支援に向けた取組	・新規相談者(実数) 163人 ・申込者(実数) 48人 (H29.2.28現在)	区生活支援課	生活困窮者自立支援制度の実施	生活に困窮した人に対し、就職や家計支出の改善などを通じて、継続的な生活の安定・自立を目指します。	【生活支援課】 (1) 区役所・福祉保健センター・関係機関が連携した支援を行うために、連携・協働によりいっそう取り組みます。 (2) 要支援者が円滑に相談につながるよう、広報・周知に取り組みます。	【生活支援課】 ① 庁内連携のため公租公課部門での事業説明を行い、定例打合せを行いました。 ② センター各課との連携強化のため、定例支援調整会議を2回行いました。また、各課で行う関連の会議に出席しました。 ③ 関係機関連携を深めるために、新たに地域子育て支援拠点すきっぷに事業説明とパンフレット配架を依頼しました。ジョブスポット泉との打合せを隔月に定例化し、区民児協での事業紹介、地域活動コーディネーター連絡会への出席等をとって連携強化を図りました。 ④ “支援を通じた地域づくり”のため、地域常設サロンのスタッフ会議に出席しました。またサロンの代表者に定例支援調整会議に御出席いただきました。 ⑤ 広報・周知のために2回、広報よこはま泉区版に記事を掲載しました。また地域福祉保健計画推進イベントでのパネル展示、課内での案内・研修実施等を行いました。
			経済困窮等に関する制度について関係機関との共有 →生活困窮等世帯に対する支援の取組	地域ケアプラザ6か所、泉地域活動ホームかがやき、泉区生活支援センターの8か所実施		区社協	生活困窮者自立支援制度の実施 →生活困窮等世帯への関係機関と連携した支援の実施	相談者の状況に応じて、関係機関との連携を図った支援を目指します。	【区社協】 相談者の状況によって、生活困窮から自立が図られるよう地域ケアプラザや区生活支援課、基幹相談支援センター等と連携します。昨年度は、制度内容の共有を進めたことから、窓口に来会された方以外にも、関係機関で生活福祉資金等の制度利用が必要な相談者が発見された場合の対応を行います。また、緊急避難的な支援のためにフードバンクを積極的に活用します。	【区社協】 区生活支援課との連携のもと、教育支援資金等貸付を行いました。また、基幹相談支援センターとも連携し、世帯を支援しました。その他、貸付には至らないが、緊急事態を乗り越えるため食糧支援を行ったケースが24件ありました。

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
1 健やかに過ごせるまち	2 安心して暮らし続けられる環境をつくる	3 住み慣れた地域で安心して暮らせるための仕組みづくり	認知症高齢者や障害者等の財産を守る権利擁護や成年後見等の理解を進め、制度の活用を推進します。	講座・講演会の開催 権利擁護事業の啓発への取組	【高齢者支援担当】 1回・63人 【ケアプラザ】 (いずみ中央) 単独1回・24人 (下和泉) 自主事業1回・14人 (上飯田) 1回・50人 (新橋) 8回・323人 (踊場) 1回・20人 (いずみ野) 2回・35人	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	権利擁護講演会の開催	成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進するため、区域、包括エリアでの講演会・出前講座等を行います。	【高齢者支援担当】 区内の包括支援センター社会福祉士、区社協と協働で、市民向けの権利擁護事業を開催します(12月頃を予定)。 権利擁護事業については、障害の基幹型相談機関、市民後見人バンク登録者を交え成年後見サポートネットを年に3回開催し、相談者の対応力の向上と、普及啓発について検討します。 また、早期発見、対応ができるようケアマネジャー向けに成年後見制度についての研修を開催します。 【ケアプラザ】成年後見制度の普及啓発のため、ケアプラザでの講座の開催や区との共催での権利擁護講座を開催します。 (いずみ中央)成年後見制度に関する講座を4月に実施します。自治会向けにも出前講座を行います。区域では、区内包括支援センターと区共催にて、10月に講座を区役所にて行います。 (下和泉)区役所と区内社会福祉士連絡会と共同でエンディングノートの改定を行い、地域に出向き、普及啓発活動を行います。また、要介護状態等になっても、本人の権利が守られ安心して生活が送れるよう、年に1回、区役所、区内包括、区社協、行政書士会と協働し権利擁護と成年後見制度に関する講座を開催します。また、地域の実情に応じた権利擁護事業に関する講座や相談会等を実施し普及啓発に努めます。 (上飯田)エリア内で活動するケアマネジャーに対し勉強会・事例検討・情報交換会等を概ね隔月(区内合同開催含む)行います。また、民生委員との交流会を企画し地域住民との意見交換の場を定期的に設けます。 (新橋)消費者被害・成年後見制度等を寸劇や講座で地域サロン等へ提供します。 (踊場)弁護士を招き、地域の方に権利擁護・成年後見制度に関して、事例をあげて、わかり易い講座を開催します。 (いずみ野) 法テラスと共働して法律相談会を開催して、地域住民が法的トラブルに関して弁護士・司法書士に相談できる機会を提供します。また「相続と遺言」や「終活」などの講座を実施し権利擁護の普及啓発に努めます。	【高齢者支援担当】 区内の包括支援センター社会福祉士と協働で、市民向けの権利擁護事業(今年度はエンディングノートをテーマ)を12月15日に開催しました。権利擁護事業については、成年後見サポートネットを全体会年3回、分科会を年1回開催しました。近年増えている障害の方の権利擁護についても検討する為、区の知的障害者支援担当、MSWなどにも参加してもらい、障害の基幹相談センター、市民後見人バンク登録者を交え、区内の権利擁護に係る人たちと事例検討やミニ研修などを通して対応力の向上と普及啓発に努めました。 また、今年度は泉区版エンディングノート「わたしの人生計画帳」を更新し、区民の自己決定支援に役立てるよう、敬老会など色々な場面で配布し、普及啓発に努めました。 【ケアプラザ】 成年後見制度の普及啓発の為、ケアプラザでの講座の開催や区との共催で権利擁護講座を12月15日に開催し、82名の方に参加していただきました。 (いずみ中央)虹いろLifeセミナーと題し4月に「成年後見制度」参加者20名、12月には区内地域包括支援センターと区共催にてエンディングノート普及のための講座を開催しました。 (下和泉)権利擁護事業として6月に法テラスによる無料法律相談会を開催し2名の方に参加いただき、12月に高齢者の施設住まいの選び方講座を開催し16名の方に参加していただきました。区役所、区内包括支援センターと協働し、エンディングノートの改訂を行い、12月にライフプランニングの口座を共催し82名の方が参加していただきました。また、成年後見サポートネットや法人内の権利擁護関連の研修や事例検討会へ参加し、ケアプラザ内での伝達研修や情報共有をし、個別相談やサロン等を通じ、地域に向けた普及啓発活動を行いました。 (上飯田)成年後見制度の講座を行政書士・社会福祉士の方をお呼びし、実施しました。地域の方に相続・遺言などの講座の後、個別相談会を行い、制度に繋がりました。 (新橋)ケアマネサロン・介護者のついでで制度の説明を行いました。 (踊場)弁護士をお呼びし、成年後見と相続、遺言の講座を開催しました。 (いずみ野)法テラスと協働し、法律相談会、司法書士による相続と遺言の講座を開催しました。権利擁護についての普及啓発に努めました。
			認知症高齢者や障害者等の財産を守る権利擁護や成年後見等の理解を進め、制度の活用を推進します。	新規相談件数 利用件数	・66件 ・44件	区社協	権利擁護事業(あんしんセンター)の推進	日常的な金銭管理等が困難な高齢者や障害者に対して、金銭管理や福祉サービス利用を支援します。	【区社協】 社会福祉士連絡会や成年後見サポートネット連絡会、地区社協会議など関係機関・団体等に当該サービスを積極的にPRし、支援が必要な人のサービス利用を促進します。また、利用件数は年間12件を目標に取組ます。	【区社協】 新規契約件数は13件となり目標を達成しましたが、契約終了件数が12件もあり例年より多かったため、契約件数は42件になりました。サロン等での周知が浸透しつつあり、相談は途切れず寄せられています。
			認知症高齢者や障害者等の財産を守る権利擁護や成年後見等の理解を進め、制度の活用を推進します。	講座参加人数	シニア大学 約70人参加	区社協	成年後見制度の周知	認知症高齢者や障害者等の財産を守る成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進します。	【区社協】 地区社協や地区民児協等の会議やシニア大学において、成年後見制度に関する説明や出前講座を実施します。	【区社協】 あんしんセンターと成年後見制度の説明は、サロンやケアプラザ、ケアマネフォンテ等で実施しました。その結果、あんしんセンターへの理解が深まり、相談や問い合わせが寄せられています。
			市民後見人育成の取組	市民後見人育成の取組	横浜市市民後見人バンク登録者2名(泉区民)	区社協	市民後見人の支援	市民後見人に関する啓発や、市民後見人になった人への研修や支援を行います。	【区社協】 市民後見人受任候補者支援のため、成年後見サポートネットで関係機関と連携して情報や課題を共有する場を設定します。また、市民後見人受任に向けて関係機関と調整を進めます。	【区社協】 成年後見サポートネット全体会を年3回、分科会を年1回開催。バンク登録者支援のための分科会では2つのテーマ①本人が自分らしく暮らせるように、後見人としてできることは？②終末期の関わりについての事例検討をグループワークし、バンク登録者を支援しました。
			障害者・高齢者への虐待の早期発見・対応ができるよう区民への啓発を進めるとともに、発見時やその後の適切な対応ができるよう、関係機関と綿密に連携します。	連絡会議からの取組事例	—	区高齢・障害支援課	高齢者虐待防止事業	高齢者虐待防止するための区民や関係機関への啓発や、関係機関との連携を目的とした会議を行います。	【高齢者支援担当】 警察、消防、鉄道会社やケアプラザ等関係機関との緊密な連携、ネットワークを構築するため、連絡会を実施予定。これまでの関係性を活かし、連携ができるよう講師を招き、連携手法に関する研修を行います。(5月29日予定)	【高齢者支援担当】 5月29日に警察、消防、ケアプラザ、介護事業所等関係機関との連絡会を開催。連携に必要なスキルについての研修(講義とグループワーク)を行いました。その後、ケアマネ連絡会でも連携についての研修を実施、関係機関との連携により虐待の早期発見につながったケースもありました。
2 人と人、活動と活動のつながりがあるまち	1 地域の中でより多くの人との交流を進める	1 様々な人との交流の推進	「参加者が一緒に楽しむ」ことを目的に、障害児・者と中学生・高校生、青少年指導員、民生委員・児童委員等との交流を進めるため、「ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会」の開催を支援します。	参加者数 大会からの交流の取組	参加者数1,264人	区高齢・障害支援課 区社協	ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会開催支援	軽スポーツを通じて障害児・者の社会参加や中高生との交流を実行委員会形式で行なっています。	●ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会の概要 ・5月20日(土)開催予定 参加者1,300人見込み ・大会の開催により、区内の障害者と中学生等、区民の方々が、互いに理解し合い、心を通わせ、助け合いの心を育みます。 【障害者支援担当】企業・団体から食料品の提供や助成金をいただきながら、5月20日に大会を開催します。また、今後も継続的に開催できるよう大会経費の取支について検討します。 【区社協】継続して実行委員会形式をとり、地域住民と大会を作り上げていく。区と区社協で事務局を行うことで実行委員会の進行管理や経費についての確認をして、障害のある方の交流事業が継続できるよう努めます。	●大会の開催実績 5月20日(土)に開催し1,282人が参加しました。 大会を通じ、障害児・者と中学生等の学生ボランティア、青少年指導員をはじめとした区民の方々が、相互に理解を深めながら心を通わせる機会となりました。また、岡津中学校ダンス部のみなさんにご協力いただき、ダンスプログラムを行い大会を大いに盛り上げました。 【障害者支援担当】 2企業から食料品の無償または低額での提供、および3団体から助成金をいただくことができました。区民ホールや障害者施設のお祭りで募金箱を設置し、区民の方などから募金のご協力をいただきました。また、競技時間の短縮に向け、既存競技を廃止し新競技を行うことなどを検討しました。 【区社協】 実行委員会を組織して開催し、障害者とボランティア、地域住民の交流の場となりました。また、財源を確保するためイベント等で募金活動をしたり、協賛企業の拡充に取組んだり、運営の安定化に努めました。
			小・中・高校生や保護者に対し、乳幼児や高齢者、障害者についての学習・体験をしてもらう機会を提供し、理解を進めるための機会を企画・実施します。	参加者数 地域での福祉教育を通じた取組	・実施回数 9団体 ・参加者数 1,282人 ・機材貸出 3団体	区社協	地域の方々や障がいのある方による学校への福祉教育、啓発事業の実施	地域の方々による福祉教育サポーターや、障害当事者や親などと協力して、各学校での福祉教育を更に充実させるとともに、地域住民や企業など対象を幅広く捉えた福祉教育の実践をはかります。	【区社協】先生のための福祉講座(近隣区合同)を開催します。また、福祉教育サポーターを公募し増員します。 年度初めに学校へ福祉教育に対する要望を聞き取り、プログラムに反映します。また、企業への福祉教育PRも行います。	【区社協】先生のための福祉講座(近隣区合同)を開催しました。また、福祉教育サポーターを公募し2名増員できました。 学校に対するプログラム提案には至りませんでした。障害者スポーツ文化センター横浜ボールや横浜市視覚障害者協会の協力を得て、新たな講師開拓ができました。
			受入れ施設数 交流や理解を深める取組	・協力施設等 21施設 講座 2講座	区社協	サマースクール事業	小中学生が夏休みに区内の保育園や高齢者・障害児者施設でボランティア体験を行い、交流や理解を深めます。	【区社協】学校と連携しながら、児童・生徒が多く参加できるよう調整します。参加者が引き続き他の活動にも参加できるよう紹介しながら、障害理解を深めます。	【区社協】 学校と連携しながら、児童・生徒が多く参加できるよう調整し、受け入れ施設の理解もあり参加者が抽選からもらえることなく参加、体験することができました。参加者が引き続き他の活動にも参加できるようユニシアボランティアの活動を紹介し、区民ふれあいまつりやチャリティコンサートでのボランティアにも参加してもらえました。	

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
人 と 人 、 活 動 と 活 動 の つ な が り が あ る ま ち	地 域 の 中 で よ り 多 く の 人 と の 交 流 を 進 め る	様 々 な 人 と の 交 流 の 推 進	施設などでの誰もが参加できるお祭り のような場で、活動グループを知っ てもらったための機会を設け、活動グ ループと地域住民の交流を進めます。	イベントを通じた交流の取 組	(いずみ中央) そよ風フェスタ1,800人 男性のためのアクティブLife講座4回・70 人 (下和泉) 部屋利用者懇談会2回・151人 スプリングフェスティバル1回(2日間) 3,972人 (上飯田) 会場利用団体交流会1回・50人 (新橋) ありがとう祭り700人 団体交流会27人 年末大掃除34人 (踊場) 利用団体発表会4回・51人 おどりばねこまつり1回・30人(CP来所 者数) (いずみ野) 和泉北部地区連合30周年記念行事・1 回・300人	地域ケアプラザ	活動団体発表会の開催 ケアプラザまつりの開催	各地域ケアプラザ主催のイベントにて、地 域活動グループの紹介や交流の機会を 図ります。	【ケアプラザ】まつりや交流会を開催し、活動グループ同士の交流や活動グループを地域の 方々に知ってもらう機会を作ります。 (いずみ中央)多くの地域の方々や作業所などが交流できる機会として、そよ風フェスタを12月 に実施し、ケアプラザを利用する団体の展示や発表などをとする機会を設けます。また、貸室団 体交流会等で活動内容の紹介を行います。 (下和泉)ケアプラザ利用団体が地域貢献の一步を踏み出す場、自分たちの活動を広げる場 として、お祭りや講座などの企画を共に実施していきます。(年2回、スプリングフェスティバル) また、部屋利用団体交流会(年2回)やボランティア連絡会(新規)を通して、課題を共有し、課 題に対して個々の団体が対策を考えていけるよう支援していきます。 (上飯田)自分たちの活動を広げる場として、ケアプラザ主催の事業を活動団体と共に協力を して実施します。また、部屋利用団体交流会(年1回)を通して、課題を共有し、課題に対 して個々の団体が対策を考えていけるよう支援していきます。 (踊場)団体のモチベーション向上と同時に、地域の方の気軽に観覧に来られる場の提供を目的 的に、第5火曜日に団体発表会を開催します。昨年度から協力している踊場ねこ祭り引き続き 協力していきます。 (いずみ野)相鉄ビルと共催でケアプラザ祭りを開催する予定です。その際、活動団体に対して の活動の場の提供と活動団体の周知を行います。	(いずみ中央)12月にそよ風フェスタを実施。医療機関・薬剤師会など新たに10の団体が 初参加。「そよ風フェスタ」をきっかけに初めてケアプラザに来所され、自主事業に参加 された方もありました。9月に貸室団体交流会を実施し、互いの活動内容、ケアプラザ の活動についての周知を行い、また、年2回のクリーンアップでも団体同士の交流の場 となるよう努めました。 (下和泉)スプリングフェスティバルで各団体の活動をいかしたブースを設けました。今 まで参加のなかった団体にも呼びかけ、活動のPRの場を提供しました。 年2回部屋利用団体交流会を開催し、1回目は地域課題を抽出するグループワーク、2 回目は施設内の大掃除を行い、団体同士の交流を深めるきっかけづくりをしました。 (上飯田)会場利用団体交流会を行い、課題を共有し会場利用団体個々がそれぞれの 課題を解決していけるように支援しました。 (新橋)ありがとう祭り600人、団体交流会18人、団体文化祭100人、年末大掃除32人 前年の団体交流会の声からケアプラザ祭とは別に文化祭を実施。地域向けだけでなく 、エリアの福祉施設の管理者とシキ担当に声をかけました。公演状況を見て、施設へ のボランティア要請がきています。 (踊場)「おどりばねこまつり」では地下鉄駅と周辺地域と協力し参加した方には楽しんで てもらえました。またFMヨコハマの取材を始めメディアでの露出も多く反響も大きかった です。 (いずみ野)9月2日 いずみ野わくわくまつり いずみ野マルシェ+プラスと共催で実施しました。生憎の天候で外ステージに出演 予定の利用団体のうち2団体が出演できませんでしたが、ケアプラザ内は大盛況で来 所された多くの老若男女の方々やお手伝いいただいた利用団体に大変喜ばれました。 12月17日 いずみ野クリスマス・イベント 駅前広場を中心にサンタクロースの仮装をされた多くの方で埋め尽くされました。ケア プラザ内での様々なイベントを通じ、様々な交流が行われました。
		2 サ ポ ー ト が 必 要 な 人 へ の 理 解 の 推 進	子育て世代が不安や悩みを抱えな がら子育てをしている実情を理解し、 周囲からのサポートを進めるための きっかけとなるよう講座を開催する 等、働きかけを進めます。	区域・ケアプラザエリアの 実施回数 ネットワーク連絡会議の取 組	区域2回 エリア72回	区こども家庭支 援課	子育てネットワーク支援事業 子育てネットワーク連絡会推 進事業	泉区のひとりひとりの子どもの育ちと親を 支えていくために必要な子育て課題に対 し、関係機関の連携により、課題解決を 進めていくことを目的として、地域別5エ リア、区域での子育て支援ネットワーク連絡 会を開催します。	【こども家庭支援課】区域の子育て支援ネットワーク連絡会では、これまでの検討経過を踏ま えたテーマ設定のもと引き続き協議を行い、ネットワークの広がりにつながる取組を企画します。 また、地域別5エリアごとに各地域の実状に合わせて子育て支援の様々な取組を推進しま す。	【こども家庭支援課】 区域の子育て支援ネットワーク連絡会では、これまでの検討の中でまとめた「子育て 支援の手立てのキーワード」をもとに具体的な取組に関する協議を行いました。 また、区内5つのエリアごとに地域の実状に合わせて、公園遊びや講演会など、子育て 支援の様々な取組を実施しました。
				提供会員数	・提供会員 88人 ・両方会員 29人 (2月末現在)	区こども家庭支 援課	横浜子育てサポートシステム 事業	児童を預けたい人(利用会員)と児童を預 かる人(提供会員)とが利用できるよう コーディネートすることにより、地域ぐる みで子育てを支援していく「有償のボラ ンティア」の仕組みです。	【こども家庭支援課】提供会員の増に向け、広報よこはま区版での記事の掲載をはじめ、小 中学校でのチラシの配付の協力を依頼するなど、あらゆる機会を通じてPRを行います。	【こども家庭支援課】 地域への出張説明会を行うほか、小・中学校校長会を通じて、児童の保護者向けに 提供会員募集のチラシの配布を行いました。
				講演会の参加者数	85人	区こども家庭支 援課	発達障害児サポートセミナー	発達障害児や家族が地域で安心して生 活できるよう、関係機関、地域住民に対 し、普及啓発の講演会を実施します。	【こども家庭支援課】泉区障害福祉自立支援協議会と連携しながら、地域住民等に向け、障害 についての理解を促す内容の講演会を開催します。(11月)	【こども家庭支援課】 戸塚地域療育センターのセンター長(医師)：渡邊 幸恵氏を講師として、「～外見から はわかりにくい障害を理解する～発達障害ってなんだろう?」というテーマで、講演会を 実施しました。平成30年2月6日 参加者:92人 発達障害について、保護者の理解だけでなく、支援者(保育関連施設、地域住民、家 族)に理解が広がることで、地域や集団で安心して生活できることにつながります。
			障害児・者や家族が感じる、生活上 支障があることを知り、周囲ができる サポートを考えるきっかけとなる講座 の開催等普及啓発を行います。	相談件数	147件	区社協	移動情報センター	障がい児・者の移動に関わる窓口として 相談を受けコーディネートします。ガイド ボランティアの事務取扱団体としてボラ ンティアの確保に努めます。	【区社協】区役所や計画相談等関係機関との連携を深め、相談に対応します。また、ヘル パー、有償運送等事業所と顔の見える関係づくりをすすめ、スムーズな支援につなげます。 ガイドボランティア、ボランティアの養成講座等を開催します。	【区社協】 計画相談員や区役所のケースワーカーからの相談が多い傾向にあり、情報共有しな がら、相談支援に取り組みました。また、事業者連絡会などを開催し、関連機関との顔 の見える関係づくりを進めました。 ガイドボランティア講座を全3回開催し、ガイドボランティア登録者は5名増加しまし た。
				講座開催数	セイフティネットプロジェクト横浜出前講 座 6件	区社協	障害児・者と交流する事業や、 理解を深めサポートを考える ための講座等の実施	福祉の作品展等で障害児・者との交流 や、障害に関するボランティア講座の開 催を通して理解を深める取組を進めま す。	【区社協】福祉の作品展を開催します。また、地区社協や地域防災拠点運営委員会等に向け てセイフティネットプロジェクト横浜の取組の紹介や出前講座等を実施します。	【区社協】 今年度も多くの高齢者・障害者施設・小中学校が参加し福祉の作品展を開催しまし た。また、セイフティネットプロジェクト横浜の取組は、地域防災拠点の研修会だけで はなく、防災訓練に主催者側の立場で参加し、障害理解が深まりました。
			障害児・者への理解を深めるきっか けづくりの場として、障害児・者団 体、障害福祉施設、地域作業所によ る自主製品販売支援の継続、業務 依頼を行います。	出店回数	・区庁舎 243回 ・戸塚駅 96回 ・フェリス女学院大学大学祭 参加 1回	区高齢・障害支 援課	自主製品等販売活動支援事 業	区庁舎や区内各地イベントで各事業所 の自主製品の販売の支援を行います。	【障害者支援担当】区庁舎での自主製品の販売活動の支援や市営地下鉄戸塚駅構内の泉区 産の農産物や自主製品の販売機会の確保を支援します。	【障害者支援担当】 区庁舎内での自主製品販売を今年度5日、戸塚駅での泉区産農産物販売を今年度2 回(水・金)実施しました。また、フェリス女学院大学大学祭へ1施設が出店しました。 販売機会の支援により、障害のある方の社会参加の機会が確保されるとともに、販 売を通じて地域の方との交流ができました。それにより地域の方にも障害福祉への理 解についても深めていただく機会となりました。
			障害児・者の余暇支援と、一緒に活 動するボランティアの育成を行いま す。	実施回数、ボランティア参加 者数 交流や理解を深める取組	【区社協】 7回・54人 (荒天のため1回中止) 【ケアプラザ】 (いずみ中央) 飛行船いずみ 24回・83人 ジュニアフレンド 2回・30人 (下和泉) 単独 1回15人 ジュニアフレンド 2回・30人 (新橋) 2回・30人 (いずみ野) 1回・31人	区社協 地域ケアプラザ	ジュニアフレンド事業	障害児の余暇支援事業に、学生を中心 としたボランティアが参加し、障害児との交 流や理解を深めます。	【区社協】泉地域活動ホームかがやき、地域ケアプラザ等と連携し、障害児余暇支援活動を実 施します。また、学生や区民にボランティア募集の呼びかけを行い、参加者との交流を通じ障 害理解を深めます。 【ケアプラザ】学齢期障害児の活動や経験を増やし、地域のボランティアの障害児への理解を促 進するため、区内ケアプラザ、区社協、地域活動ホーム、各学校と協力して進めます。夏・冬 ・春とコースを設定し実施します。 (いずみ中央)ジュニアフレンド事業に企画段階より参加します。またケアプラザ独自の障害児 支援の取組みとして「飛行船いずみ」や新たに発達障害の理解・啓発に関する講演会を行いま す。 (下和泉)学齢期障がい児の活動や経験を増やし、地域のボランティアの障がいへの理解を 促進するため、区内ケアプラザ、区社協、地域活動ホーム、各学校と協力して進めます。夏・ 冬・春とコースを設定して年3回実施します。 (新橋)ありがとう祭(ケアプラザ祭)、団体交流会、年末大掃除を実施予定 (踊場)年10回の連絡会、春夏冬の余暇支援、ボランティア育成に協力します。 (いずみ野)区内地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、学校と連携し、ジュニアフレンド 事業に参加します。	【区社協】 夏休みと春休みにジュニアフレンド事業を実施しました。ボランティア募集では、ボラ ンティアグループを組織している学校へ働きかけ、高校生のボランティアに協力いた だき、たくさんの交流の場面を作ることができました。 (いずみ中央)ジュニアフレンド事業(夏・春)に企画段階より参加。またケアプラザ独自 の障害児・者支援の取組みとして「飛行船いずみ」を継続して実施。7月に包括支援セ ンターとの共催事業として発達障害の理解・啓発に関する講演会を実施。 (下和泉)ジュニアフレンドの下和泉プログラムとして重度心身障害児を対象に「緑日」 を実施しました。またジュニアフレンド全体としては、春のバスハイクを実施しました。重 度心身障害児についての講話を行ったり、ボランティアとして参加した地域住民との交流 や障害児の家族の様子を通して障がい理解を深めました。 (上飯田)区内地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、学校と協力し・連携して、 ジュニアフレンド事業を企画・運営しました。(夏・春 年2回) (新橋)ジュニアフレンド事業を1回開催し、30人の参加がありました。参加者・ボラ ンティアが確保され、余暇事業として、保護者のレスパイトにつながっています。 (踊場) ジュニアフレンド夏・春事業企画、参加。他のケアプラザの企画にもサポートで参加。 (いずみ野) いずみ中央地域ケアプラザ実施のジュニアフレンド事業において後方支援として参加。 (1回)

の推 柱進	項 重 目 点	名 取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果																	
人 と 人、 活動 と 活動 の つ な が り が あ る ま ち	1 地 域 の 中 で よ り 多 く の 人 と の 交 流 を 進 め る	2 サ ポ ー ト が 必 要 な 人 へ の 理 解 の 推 進	認知症高齢者を理解し、支える認知症サポーターの養成と活動支援を行います。	認知症サポーター数	【高齢者支援担当】 10,325人 【ケアプラザ】 (いずみ中央) 15回・700人 (下和泉) 6回・8人 (新橋) 6回・238人 (踊場) サポーター養成講座4回・79人 (いずみ野) 7回・657人	区高齢・障害支援課 ケアプラザ	認知症キャラバンメイト支援	認知症キャラバンメイトの活動を支援し、認知症サポーター養成講座を行います。	【高齢者支援担当】 区認知症キャラバンメイト連絡会(年2回)開催します。また、スキルアップ研修の実施(年1回)、活動名簿更新、各地域ケアプラザエリア毎連絡会開催支援、認知症サポーター養成講座開催調整を行います。 【ケアプラザ】認知症サポーターの養成やキャラバンメイトの活動を支援し、認知症の理解と普及啓発を行いました。 (いずみ中央)自治会、商店会、学校、医療機関、企業等へ認知症サポーター養成講座実施の働きかけを行い、認知症サポーター養成講座の積極的な開催につなげます。実施に際しては、キャラバンメイトが十分に力を発揮出来るよう、後方支援を行います。 (下和泉)地域へ認知症サポーター養成講座を実施し認知症の理解を促し早期発見をしていきます。キャラバンメイトの活動を支援しエリア内キャラバンメイト連絡会を開催します。 (新橋)ジュニアフレンド事業を行います。他余暇支援活動を立ち上げるべく活動します。 (踊場)エリア内のキャラバンメイトの連絡会を開催します。キャラバンメイトを支援しながら、認知症サポーター養成講座を行います。 (いずみ野)キャラバンメイトと連携を図りながら、まだ実施していないサロンや団体等にサポーター講座を実施します。	【高齢者支援担当】 泉区認知症キャラバンメイト連絡会を年2回開催しました。うち1回はスキルアップのための研修会を行いました。活動名簿の活用について検討し、今後の方針をケアプラザと共有しました。各地域医のケアプラザエリア毎の連絡会の後方支援を行いました。区域の認知症サポーター養成講座の調整を行い、平成29年9月末時点で19回972人が受講しています。(住民:12回 企業・職域団体:3回 学校:3回 介護サービス:1回) (いずみ中央)サポーター養成講座を、16回・計912名に実施。また、受講後のキャラバンメイトの方達に「ボランティア感謝と交流の集い」にて講師を依頼。活躍の場を提供できるよう努めました。 (下和泉)認知症キャラバンメイト受講を提案し、地域住民の認知症キャラバンメイトが1名増え、12名のキャラバンメイトがエリア内連絡会で活動しています。計6回エリア内キャラバンメイト連絡会を実施しました。連絡会の中で認知症に関するDVDを見たり、情報共有を行うことで各々の認知症に対する理解をさらに深めました。また、小学校や各活動団体、福祉施設などで認知症サポーター養成講座を9回実施しました。 (上飯田)自治会・スーパー・学校・介護施設等に認知症サポーター養成講座を実施、キャラバンメイトの活動を支援しました。エリア内のキャラバンメイト連絡会を年2回開催しました。 (新橋)年間4回キャラバンメイト連絡会を開催しました。延べ20人のメイトが参加しました。認知症サポーター養成講座を9回開催し、210名のサポーターを養成しました。 (踊場)年間2回キャラバンメイト連絡会を開催しました。紙芝居の活用や認知症に関する知識を深めるように努めました。サポーター養成講座を年4回、209名に実施しました。 (いずみ野)キャラバンメイトと連携を図り、今まで実施していないいずみ野小学校4年生、郵便局、消防、読売新聞でサポーター養成講座を開催しました。また、一般住民向けのサポーター養成講座も開催しました。																	
											2 活 動 の ネ ッ ト ワ ー ク と 連 携 を 強 化 す る	1 共 通 課 題 の 解 決 に 向 け た 取 組 の 推 進	同じ分野で活動している地域の活動グループや関係機関等による連絡会議を開催し、共通する区域の課題を整理しながら、解決方法を検討します。	連絡会から発展した取組	—	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	認知症高齢者対策・高齢者虐待防止連絡会の開催	区内の高齢者関係機関と共に、共通課題の解決方法を検討します。	【高齢者支援担当】 虐待防止連絡会(5月)を、徘徊SOS連絡会(10月)をそれぞれ年1回実施します。H28年度は同日開催でしたが、H29年度は別日程で実施します。 【ケアプラザ】認知症高齢者の見守り体制づくりや高齢者虐待防止に向けた検討を行います。(いずみ中央)高齢者虐待防止連絡会に参加し、区内の高齢者関係機関と連携を図り、共通課題の解決方法を検討していきます。 (下和泉)高齢者虐待防止のリーフレットの改定を区役所と区内包括で共同で行い、地域に出向き、啓発活動を行います。また、区内包括社福士連絡会と区内主任ケアマネジャーと共同で事例検討会を開催し、横浜市虐待防止事業指針に基づいた支援検討ツールの活用を学び、実際に虐待事案が発生した際には迅速に対応いたします。総合相談等から地域の実情を把握し、介護者やケアマネジャーに対する支援を検討、必要に応じて区と協働して緊急時の対応を行います。年に1回、高齢者虐待防止連絡会において、高齢者関係機関と情報共有を図り、高齢者虐待防止に向けた取り組みを検討します。 (上飯田)総合相談等から地域の実情を把握し、介護者やケアマネジャーに対する支援を検討、必要に応じて区と協働して緊急時の対応を行います。年に1回、高齢者虐待防止連絡会において、高齢者関係機関と情報共有を図り、高齢者虐待防止に向けた取り組みを検討します。 (新橋)区で開催する認知症高齢者対策・高齢者虐待防止連絡会に参加し、エリア内の情報を共有し、対策を強化していきます。 (踊場)高齢者虐待防止連絡会に参加します。サービス事業者やケアマネジャーに虐待が疑われるケースの早期発見を喚起します。 (いずみ野)高齢者虐待防止連絡会に年一回、参加し、関係機関と情報共有を図ります。総合相談等から地域の実情を把握し、必要に応じて徘徊高齢者等SOSネットワークにつなげます。	【高齢者支援担当】 (高齢者支援担当) 高齢者虐待防止連絡会を開催しました(5月)。また、5月に包括社福スタッフと区民向けに高齢者虐待防止普及啓発のリーフレットを作成し、包括職員と協力して、講演会やサロンなどで配布しました。 徘徊SOS連絡会においては、関係機関との顔の見える関係を構築して、意見交換を図り、今後の連携を強化することができました(10月)。 (いずみ中央)高齢者虐待防止連絡会に参加し、区内の高齢者関係機関と連携を図り、共通課題の解決方法を検討しました。高齢者虐待防止のリーフレットを用いて地域の高齢者サロン等で啓発活動を行いました。 (下和泉)1月に認知症高齢者対策・高齢者虐待防止連絡会へ参加し、区や区内包括、関連機関との情報共有を図り、高齢者虐待防止に向けた取組を検討しました。総合相談で把握した個別ケースや通報のあった虐待(疑い)ケースについて、区と連携し支援を行いました。 (上飯田)認知症高齢者対策の連絡会に参加し、関係機関との情報共有を図ったことでキャラバンメイト連絡会などや個別ケースでも情報交換など、支援や対応に役立ちました。また、認知症高齢者対策の連絡会にも参加し、関係機関との情報共有を図ったことで、キャラバンメイト連絡会などや個別ケースでも情報交換など、支援や対応に役立ちました。 (新橋)区で開催する認知症高齢者対策・高齢者虐待防止連絡会に参加し、エリア内の情報を共有しました。 (いずみ野)虐待防止連絡会、徘徊SOS連絡会に参加し、関係機関との情報共有を図りました。民生委員とケアマネジャーの連絡会で虐待についてケアプラザ職員が勉強会を開催し、虐待の理解を深める事ができました。							
																					実務者会議、個別ケース検討実施回数 連絡会議での取組	・実務者会議2回 ・個別ケース検討会議57回	区子ども家庭支援課	要保護児童対策地域協議会	要保護児童等の早期発見や適切な保護・支援を図るため、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係者の情報共有、課題の解決に向けた検討を行います。	【こども家庭支援課】 区域の関係者による実務者会議を年2回(6月、2月)開催し、機関相互の円滑な連携のための情報交換や協議を行います。 また、子どもや養育者に直接関わりのある関係者が集まり、支援策の検討を行う個別ケース検討会議を必要時に開催します。	【こども家庭支援課】 区域の関係者による実務者会議を開催し、事例をもとにした意見交換・情報交換や、「複雑な環境で育ち孤立化しやすい親への支援」というテーマでの有識者による研修を実施しました。 また、関係機関による個別ケース検討会議を必要時に実施し、支援方針や役割についての検討を行いました。
																					公民保育園の研修参加者数	研修:20回・581人 交流:11回・17園	区子ども家庭支援課	保育資源ネットワーク構築事業	保育資源間での保育・教育の関する実践研修や公開保育等の実施、情報交換・ノウハウの共有化の取組を実施します。	【こども家庭支援課】 各施設が抱える様々な課題についての情報交換を研修会等を通じて行うことにより、課題解決に向けたノウハウの共有化の取組を実施します。	【こども家庭支援課】 各種研修会・交流会を実施し、保育施設等全体のスキルアップを図り、安全で信頼された保育を提供しました。
連絡会議等での課題解決の取組	・ボランティア団体連絡会(ネットワーク)の開催 12回 ・専門機関(法人・施設の連絡会)部会開催 3回	区社協	課題共有やその解決のため、ボランティア連絡会の有効活用 一課題共有やその解決のため、ボランティア団体連絡会や専門機関部会(法人・施設の連絡会)等との連携強化	会員組織を活かして、地域の活動グループや関係機関等による連絡会議を開催し、共通する課題の解決方法を検討します。	【区社協】 地区社協分科会(12地区会長・事務局長会)やボランティア団体連絡会(ネットワーク)等での課題を解決するために、区社協専門機関部会(法人・施設の連絡会)との連携を強化し取組ます。	【区社協】 ボランティアネットワークの運営委員会等で専門機関部会の取組を伝えたり、地区社協との合同会議を開催したり、顔の見える関係づくりに取り組みました。参加者からは双方の役割やニーズが理解できたと好評でした。また、生活支援グループの希望であった剪定講座の開催や、ボランティアの基本的な考えやルールを守る必要性などの講座を開催し、課題解決に向けて支援しました。 地区社協と区内法人施設の連携を進めるためアンケート調査を実施しました。この結果をもとに、地域と施設をつなぐ活動を進めています。また、法人施設が中心となり「泉サポートプロジェクト」を立ち上げ、移動困難者の送迎支援を開始しています。																					

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
人 と 人 、 活 動 と 活 動 の つ な が り が あ る ま ち	活 動 の ネ ッ ト ワ ー ク と 連 携 を 強 化 す る	共 通 課 題 の 解 決 に 向 け た 取 組 の 推 進	子どもの育ちや親の不安を支えていくための子育て課題を多様な視点から解決するため、子育て支援ネットワークによる関係機関との連携を進めていきます。	区域・ケアプラザエリアの実施回数 ネットワーク連絡会議の取組	区域2回 エリア72回	区こども家庭支援課	子育てネットワーク支援事業	泉区のひとりひとりの子どもの育ちと親を支えていくために必要な子育て課題に対し、関係機関の連携により、課題解決を進めていくことを目的として、地域別5エリア、区域での子育て支援ネットワーク連絡会を開催します。	【こども家庭支援課】 区域のネットワーク連絡会では、関係機関・団体の代表者レベルで、子育て支援状況についての情報共有や課題確認を行います。また、地域別5エリアごとの連絡会では、地域で活動を行う支援者の顔の見える関係づくりとともに、子育て支援に係るエリアごとの課題共有と、解決に向けた取組を進めます。	【こども家庭支援課】 区域のネットワーク連絡会を年2回開催しました。エリア別の連絡会や区域全体での子育て支援の情報交換はできましたが、区域全体での子育て支援の課題や解決のためについては、意見交換にとどまっています。参加者：延べ55人 また、ケアプラザエリアごとの連絡会を概ね月1回程度開催しました。
			地域の様々な団体や民間企業等と協働し、当事者の社会参加・自己実現を進めている泉区障害福祉自立支援協議会を支援します。	連絡会から発展した取組	—	区高齢・障害支援課	泉区障害福祉自立支援協議会の支援	区内の障害団体や障害福祉サービス事業所等の連携強化を目的としたネットワークを行います。	【障害者支援担当】 泉区障害福祉自立支援協議会の総会のほか、障害児者の日中活動での支援の方法や事業所等のスキルアップなど、テーマごとに設定され7部会・1WGほかについて、部会開催や参加事業所等による意見交換や協力体制の構築を支援します。	【障害者支援担当】 7部会2プロジェクト(子ども部会、日中活動部会、グループホーム部会、相談部会、重心部会、本人部会、研修部会、福祉と教育の連携プロジェクト、精神保健プロジェクト)において、各事業所の課題や現状の共有を行い勉強会、研修を実施しました。より専門的な領域での取り組みを実現し具体的な連携や協力につなげる機会ができています。 各部会において参加者数の減少など課題があり、今後部会の在り方について検討が必要です。
			高齢者の自立を支援し、地域で高齢者を支えるネットワークを強化するため、地域ケア会議を開催して個別ケースの課題分析等を積み上げ、地域の課題を把握することで、課題解決のために必要な社会資源の開発・地域づくり・市の政策への反映等につなげていきます。	ケア会議の開催数 ケア会議からの課題整理、取組事例	区レベル1回 包括7回 個別17回	区高齢・障害支援課	地域ケア会議	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制がある地域づくりを行います。会議は区域・包括支援センターエリアで実施します。	【高齢者支援担当】 個別レベル、包括レベル、区レベルの3層構造で実施し、地域課題の発見及び解決方法の検討を実施します。より広域な課題については、市レベルの会議での検討につなげます。	【高齢者支援担当】 各ケアプラザにて、個別レベル・包括レベルの地域ケア会議にて地域課題を検討しました。 10月20日には、区レベルの地域ケア会議を実施。29年度前期の各ケアプラザでの個別レベル・包括レベルで挙げられた課題から、次年度に向け多様な主体による担い手不足の解消について区レベルでの課題として検討していきます。
地 域 活 動 へ の 参 加 が す す む ま ち	地 域 活 動 の 担 い 手 を 養 成 す る	新 た な 担 い 手 の 育 成	講座の企画・実施	講座の企画・実施	庭木剪定講座 年3回・32名	区社協	これから地域に戻る世代を対象にしたボランティア団体、ボランティアの紹介、地区社協と連携して自分の技術や経験を活かせる場の開拓 ーこれから地域に戻る世代を対象にしたボランティア活動やボランティア団体の紹介	趣味や特技を活かしたボランティア活動ができるよう、世代の特性にあわせた講座を開催します。	【区社協】 会員や地域住民向けの講座、シニア大学でボランティア入門講座、いずみ野ケアプラザとの共催でボランティア講座を開催しました。また、1層コーディネーターや地域交流コーディネーターと共同して企画した「いずみオトナCollege」では、男性に関心を持ってもらえるようなプログラムを用意し、参加者から好評でした。終了後は、修了者のグループ化や地域のボランティア活動へ紹介するなど地域の活動につなげています。	
			講座からつながった担い手の活動	—	区福祉保健課	担い手発掘に向けた取組	対象者の関心のあるテーマを設定し、より担い手の活動につながる講座内容を企画・実施します。	【事業企画担当】 「ブレインインタビュー」と区内2つの団体にアンケート調査とインタビュー(グループと個別)を実施し、活動者の現状を把握した。現状の中からいくつかのキーワードと課題が見出されたため、H29年度はキーワードの整理と楽しく生きがいにつながるようなツール作成と周知につなげます。	【事業企画担当】 地域活動を行うキーワードの整理をし、地区社協会長事務局長会や推進協議会での意見照会を重ね、「地域活動を味わうためのお品書き」リーフレットを作成。作成に当たっては誰もが気軽に手に取ってくれることを目指しデザインを検討。「タイトルにひかれ手に取った」「手に取りやすくアイデアが湧いてきてとても良い」等の区民の声が聞かれ、区役所の事業だけでなく、活動団体より配布の希望も出された。また、飲食店や駅など今までにない場所での配架を依頼、結果として5,000部以上の配架・配布となり担い手準備への広く周知することができた。	
			地域での新たな担い手を育成するため、これから地域に戻る世代(50～60代)を対象とした講座を開催します。	講座の企画・実施	(いずみ中央) 4回・70人 (下和泉) 1回・13人 (上飯田) 2回 (新橋) 3回・13人 (踊場) 1回・36人 (いずみ野) 1回・15人	地域ケアプラザ	ボランティア講座の企画・実施	ボランティア講座を行い、地域で活動する担い手を養成します	【ケアプラザ】地域の担い手向けに、ボランティア講座を開催します。 (いずみ中央)既存のボランティア向けには「ボランティアスキルアップ講座」の実施や「シニアボランティアポイント登録研修会」を行います。「男性のためのアクティブライフ講座」を前年度参加した方の有志のグループ「duck」の皆様とともに企画立案し実施します。参加者であり担い手としても活動してもらい活動の輪を広げてまいります。 (下和泉)趣味活動から取り組めるような講座等を実施し、若い人が地域参加できるよう年1～2回講座を実施します。地域交流と生活支援体制整備事業が協働し男性の地域デビュー講座を実施します。 (上飯田)地域住民が参加し地域活動に繋がる講座を開催し地域で活動する担い手を発掘養成していきます。 (新橋)ボランティア講座を1回開催します。 (踊場)地域の畑で蕎麦の実を育て、そば打ち、調理、そのメンバーでのウォーキング企画など、男性をターゲットにした地域デビュー企画を実施します。 (いずみ野)ケアプラザや地域で活動できるボランティアを養成するため、泉区社会福祉協議会と連携しボランティア講座を実施します。	(いずみ中央)シニアポイント登録研修会を実施。ボランティア活動を身近に感じていただくと共に楽しんで地域活動に参加していただけるよう努めました。 (下和泉)新たな担い手発掘を目的に、趣味をきっかけに地域活動に参加できるよう「スマホ講座」や「男性の体操教室」を開催しました。 (新橋)地域×ビジネス＝社会貢献～地域で創り地域で使う福祉サービス～をNPOだんだんと開催し、担い手の養成を行いました。参加者は50名で、実際の社会資源立ち上げボランティアは23名となりました。(生活支援体制整備事業共通) (踊場)そば講座を開催し、男性の力を地域に還元できるよう支援しました。 (いずみ野)男性の地域デビューの端緒となるべき男性限定講座を開催しました。29年度は「そば打ち」(7回シリーズ：9月～3月)講座に7名が参加されました。自主化は難しかったのですが、数名の方が、別の男性向け講座に引き続き参加しています。
趣味を楽しむことや、仕事で得たスキルを活かした活動が始められるような講座を開催し、地域で仲間と一緒に楽しむ機会を設けます。	ボランティアマッチングの仕組み 地区社協と連携した取組 地区社協やケアプラザと連携した取組	・音声訳ボランティア入門講座 17名参加 ・傾聴ボランティア養成講座 29名参加	区社協	これから地域に戻る世代を対象にしたボランティア団体、ボランティアの紹介や、地区社協と連携して自分の特技や経験を活かせる機会の提供 ーボランティア活動ニーズのスムーズなマッチング ケアプラザエリアを単位としたボランティア講座の開催	ボランティアセンター窓口でも、趣味や特技を活かせるようなボランティアの紹介がスムーズにできるような仕組みを作ります。 趣味や特技につながる講座の開催や、地域のサロン等で披露する機会など、生活支援コーディネーターや地区社協等と連携して活動の場を提供します。	【区社協】 ボランティア登録者に対して登録更新の手続きを実施して把握したボランティア活動ニーズに基づき、地区社協や施設等に対して、ボランティア団体に関する情報提供を実施し、ボランティアニーズの相談調整を円滑に行うとともに、ボランティアの活動の場を創出します。また、生活支援コーディネーターと連携して、人材養成や活動の場を提供します。	【区社協】 ボランティアをしたい人とボランティアを求める人(場所)とのスムーズなマッチングを目的に、ボランティアセンター登録者の名簿を得意分野や居住地別等に整理を始めました。 第2層生活支援コーディネーターと連携し、3回連続講座「いずみオトナカレッジ」を企画実施し、地域福祉活動の人材養成に努め、区民ホールイベントなどへの参加などへつなげました。 区民ホールイベントで開催した出張ボランティアセンターでは、146名の来場があり4名が登録につながりました。また、5つのボランティア団体の活動発表は、活動PRとともに活動場所の拡充につながりました。			

の推 柱進	項重 目点	名取 組	行動計画	振り返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
3 地域活動への参加がすすむまち	1 地域活動の担い手を養成する	1 新たな担い手の育成	障害者の理解と活動のサポートをする担い手の育成として、ボランティア講座を実施します。	ボランティア講座参加者数	<p>【区社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドボランティア養成講座3回実施 ①ガイドボランティアとは？(10名参加) ②知的障害の理解(15名参加) ③視覚障害の理解(11名参加) ・セーフティーネットプロジェクト横浜(略称:Sネット)の出前講座を地域防災拠点運営委員会等で6回実施 	区社協 区 地域ケアプラザ	ボランティア講座の企画・実施	<p>【区社協】</p> <p>生活支援体制整備事業、ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等で把握した課題の解決を目指したボランティア講座を開催します。</p> <p>(上飯田)地域にあるボランティアグループのアセスメントを実施し、個々の特徴を把握します。また顔の見える関係を築き、相互のボランティアの方が安心して取り組みをスタートできるようコーディネートします。また窓口相談体制を強化します。</p> <p>(新橋)ボランティア講座を1回開催します。</p> <p>(踊場)ニーズ把握に努め、ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等と情報共有をしながら適宜講座を開催します。</p> <p>(いずみ野)泉区社会福祉協議会と連携をし情報を共有し、課題を挙げた上で、ボランティアを育成するため、ボランティア講座を実施します。</p>	<p>【区社協】</p> <p>前年度に引き続き、セーフティネットプロジェクト横浜の出前講座を中田地区の地域防災拠点4か所で開催し、障害理解を深めました。中田地区では、コミュニケーションが苦手な障害者のコミュニケーションツールとして作成された「コミュニケーションボード」を活用して、障害者施設ジョイカンパニーとの交流を深めました。ガイドボランティア講座を実施し、新たに5名が登録しました。</p> <p>(いずみ中央)「シニアボランティアポイント登録研修会」や自主事業にて、区社協職員よりガイドボランティアの活動紹介や周知を行っていただきました。</p> <p>(下和泉)地域ケア会議で視力障害の方のケースを取り上げ、障がいがあっても地域で安心して生活するために地域住民と一緒に課題解決のための検討をしました。また、ジュニアフレンドのプログラムの中で、障がい理解を深めるために重度心身障害についての講話をボランティア向けに行いました。</p> <p>(上飯田)地域活動団体の活動に参加し活動の状況を把握し、課題解決のための検討を行った。</p> <p>(新橋)「地域×ビジネス＝社会貢献～地域で創り地域で使う福祉サービス～」をNPOだんだんと開催し、担い手の養成を行いました。参加者は50名で、実際の社会資源立ち上げボランティアは23名となりました。(生活支援体制整備事業共通)</p> <p>(いずみ野)「ちょこボラ」について、区社協と課題の一つとして認識しました。ボランティア講座(3月11日)に9名が参加されました。活動者による経験談など好評でした。事業の見学を希望される方もおられました。</p>	
			社会福祉施設や事業所の利用者が、地域活動に参加したり関わったりすることができるように取り組みます。	連絡会から発展した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・水道局と障害福祉サービス事業所等の協働事業(道志の森見学ツアーと植樹(5月)、道志の森カフェの開催(8～9月)) ・シンポジウム「もしも、私たちの町で大地震が起きたら・・・」(3月) 	区高齢・障害支援課	泉区障害福祉自立支援協議会の支援	区内の障害団体や障害福祉サービス事業所等の連携強化を目的としたネットワークを行います。	<p>【障害者支援担当】</p> <p>泉区障害福祉自立支援協議会が主催するシンポジウムの開催を支援します(年度末)。</p>	<p>【障害者支援担当】</p> <p>H28年度開催のシンポジウムでは参加者が少なく実施の効果などが検討課題になりました。そのためH29年度は、シンポジウムの開催方法やテーマ設定などを議論を重ねました。</p>
		地域デビュー講座や担い手育成の講座を修了した人が、地域で活動している団体や活動グループに参加できるようコーディネートします。	コーディネートの取組	—	地域ケアプラザ	ボランティア活動団体、ボランティアネットワーク等と連携したボランティアコーディネーター	<p>ボランティアグループの紹介や、ボランティアネットワークとの連携を通して、ボランティアを始める方がスムーズに活動につながるよう支援します。</p> <p>ボランティアグループの紹介や、ボランティアネットワークとの連携を通して、ボランティアを始める方がスムーズに活動につながるよう支援します。</p>	<p>【区社協】</p> <p>ボランティア活動団体紹介冊子や広報紙等を活用してボランティア活動を積極的にPRします。また、ボランティア入門講座(高齢者の介助入門)等参加者に対しては既存のボランティア活動や地域活動を紹介します。</p> <p>【ケアプラザ】ボランティア活動がスムーズに行えるようコーディネートします。</p> <p>(いずみ中央)28年度「男性のためにアクティブライフ講座」を受講した方々や「シニアボランティア講座」を受講した方等の今後の活動となる場と一緒に探していきます。また区社協のボランティアセンターとも連携し既存の団体の紹介も行っています。</p> <p>(下和泉)ボランティア台帳を更新しボランティアの方が安心して活動をスタートできるようコーディネートします。また地域活動情報を職員で共有し活動のスタートにきめ細やかな対応ができるようにします。</p> <p>(上飯田)地域にあるボランティアグループのアセスメントを実施し、個々の特徴を把握します。また顔の見える関係を築き、相互のボランティアの方が安心して取り組みをスタートできるようコーディネートします。また窓口相談体制を強化します。</p> <p>(新橋)事業を通じて、地域デビューしていく人材を意識的にフォローしていきます。</p> <p>(踊場)既存の団体については撮影した動画などを用いながら、ボランティアを希望する方に分かりやすく紹介し、また各所ボランティアセンターとの連携によりニーズ把握・スムーズな対応に努めます。</p> <p>(いずみ野)ボランティアの方が活動に参加できるように、受け皿となるボランティア団体や地域の活動を把握、発掘し、繋げて参ります。</p>	<p>【区社協】</p> <p>区社協広報紙「区社協だより泉」の紙面を見直し、地域活動やボランティア活動の紹介を増やLPRに努めました。また、30年度に向けて再度紙面の見直しを行い、施設等のボランティア情報や活動者の声を掲載していきます。また、ボランティア講座受講生には、ボランティア情報や講座等を案内して、ボランティア活動につなげていきます。</p> <p>(いずみ中央)「男たちの活動グループducks」および「男性のためにアクティブライフ講座」を受講した方々から地域活動やボランティア活動に繋がったケース(移送支援のボランティア、認知症キャラバンメイト、ケアプラザ事業)がありました。また区社協のボランティアセンターや他OPとも連携しボランティア活動に繋がったケースもありました。</p> <p>(下和泉)ボランティア台帳の整理をし、最新の情報でボランティア活動や地域活動希望者に安心して活動していただけるようコーディネートできるようにしました。また窓口相談にも活用しています。歌声サポーターズが地域で活躍できるよう、地域のサロンなどに繋げるサポートをしました。</p> <p>(上飯田)地域にあるボランティアグループのアセスメントを実施し、個々の特徴を把握しました。また顔の見える関係を築き、相互のボランティアの方が安心して取組をスタートできるようコーディネートしました。</p> <p>(新橋)団体文化祭を開催し、100人の方に参加いただきました。前年の団体交流会の時からケアプラザ祭とは別に文化祭を実施。地域向けだけでなく、エリアの福祉施設の管理者とレク担当に声をかけました。公演状況を見て、施設へのボランティア要請があり、コーディネートしました。</p> <p>(踊場)(踊場)動画等で活動の様子をみってもらうことでスムーズに活動へ参加してもらうことができました。</p> <p>(いずみ野)ボランティア講座(3月11日)に9名が参加されました。活動者による経験談など具体的な内容が好評でした。事業の見学を希望される方もおられましたので、受入側との調整を次年度に行う予定です。</p>	
地域で行われている活動をまとめ、活動の参考となるよう、情報を整理し、提供します。	情報提供方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターから版、キラぼら泉、区社協広報紙各3回発行 ・地域サービスリストの作成 	区社協	地域で行われている活動に情報提供	<p>新たな担い手を増やしたり、現在活動している人の参考になるように、地区社協やボランティアグループ等地域で行われている活動をまとめた紹介冊子等で、地域情報を提供します。</p>	<p>【区社協】</p> <p>地区社協広報紙の拠点内掲示や賛助会費募集チラシ、キラぼら泉(区社協広報紙)やパソネット泉によるホームページ等を活用して地区社協やボランティア団体の活動を広く発信します。</p>	<p>【区社協】</p> <p>パソネット泉の解散により、ホームページへのアップは泉区ボランティアネットワークのフェイスブックでアップするようになりました。フェイスブックで、ボランティアネットワーク会員がいち早く情報をアップしたり、リンク等で拡散するなど今までとは違う情報発信を行っており、閲覧者は増えています。また、福祉保健活動拠点の掲示を見やすくしたり、地区社協広報紙等はA1版に拡大して掲示したり、掲出方法の見直しを進めました。</p>			

の推 柱進	項 重 目 点	名 取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果
地域活動への参加がすすむまち	地域活動の担い手を養成する	活動が継続するための支援	地域の活動グループへの相談・助言をはじめとする運営面での支援を行います。	相談・助言件数	3,499件	区社協	ボランティアセンターの運営	ボランティアセンターで相談・助言をするともに、ボランティアネットワークの運営に協力し、団体の課題を共有し、解決に向けた取組みを行います。	【区社協】 ボランティアネットワーク活動分野別情報交換会を開催し、課題解決に取り組みます。また、年3回発行するキラぼら泉(区社協広報紙)にボランティアニーズ対応状況を掲載し、ボランティア活動への関心を高めます。	【区社協】 各部会で研修会や意見交換を行いました。年に1回の開催だと共有しきれない、他の部会の意見も聞きたいなどの提案があり、次年度に反映させることになりました。また、広報紙「区社協だより泉」の紙面を見直し、ボランティアや地域活動のトピックスを増やした結果、区民からの問い合わせが増えました。
				内容、回数、参加団体数・人数	・福祉の泉助成金 195団体 ・ミニ研修 ①生活支援体制事業 ②移動情報センター	区社協	ボランティアグループ等の運営のための研修会等の開催	既存の団体が抱える課題を共有し、解決に向けた取組が進むよう、研修会等を通じて支援します。	【区社協】 団体の安定した運営を目的とした「みんなでつこう！福祉の泉助成金」を助成します。また、助成金交付団体やボランティアネットワーク登録団体の課題や関心事を反映したミニ研修を実施します。	【区社協】 地域の福祉保健活動を財政面から支援する「福祉のいずみ助成金」制度を改正し、助成額等を拡充しました。 助成金登録団体の課題としてスキルアップが課題としてあり、庭木の剪定講座を開催しました。
			地域の活動グループの運営のための研修会を企画・実施します。 →地域の活動グループの運営のための研修会を企画・実施など、活動を継続するための支援を行います。	主体的なグループ活動の取組	・保活地区会長会 12回実施 ・食改セミナー 8回実施、修了者15人	区福祉保健課	地域で活動する健康づくり団体への支援 委嘱委員等ホームページ作成 民生委員・児童委員の活動支援	保健活動推進員会の研修・活動への取組を支援します。 食生活等改善推進員の養成を行います。 委嘱委員に就任した方への支援のため、委嘱委員等ホームページを作成します。 民生委員・児童委員の活動支援を行います。	【健康づくり】 ・保健活動推進員の全体研修会(4回) ・保活地区会長(月1回) ・食改セミナー(8回) 【地域力推進担当】 ・委嘱委員ホームページの作成 【運営企画係】 ・民生委員担当地区の地図作成 ・主任児童委員周知用リーフレット作成	【健康づくり係】 保健活動推進員の研修会については、地区会長会の研修部会で企画・立案し、応急処置講習会(2回)及び全体研修会(2回)を実施して、区民の健康づくりに役立てていきたいという意見があり、今後も研修を実施していきます。 食改セミナーの受講生7名が講習を修了して、次年度からヘルスマイトに入会して、地域で活躍していくことにつなげることができました。 【地域力推進担当】 ・委嘱委員ホームページの作成(民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、消費生活推進委員、環境事業推進委員) 【運営企画係】 民生委員・児童委員の活動支援のための地図を作成と、主任児童委員の活動支援のためのリーフレットを作成しました。
			研修・連絡会の参加者数	子育てサロン連絡会・研修会39人 親子サークルリーダー研修会167人	区こども家庭支援課	子育てネットワーク支援事業 子育てサロン支援事業 親子サークル支援事業	【子育てサロン支援事業】 概ね月1回程度の子育てサロンを地域で開催するなど、子育て支援活動を行っている地域ボランティアリーダーを対象とした運営や活動についての研修の開催・活動を支援します。 【親子サークル支援事業】 活動中の親子サークルの代表者を対象とした「親子サークルリーダー研修会」の開催、サークル同士の交流や情報交換、情報提供を行います。	【こども家庭支援課】 子育てサロン連絡会・研修会を開催します。(連絡会・研修会 各1回)。親子サークルリーダー研修会を年4回開催します。	【こども家庭支援課】 子育てサロン連絡会・研修会を各1回開催しました。区内各地の子育てサロンのボランティアリーダーが集まることにより、運営の工夫や最近の子育て事情等について情報共有することができました。参加者：延べ42人 親子サークルリーダー研修会を年3回開催しました。母親主体の親子サークルは、運営側の母親と参加者側の母親が同じ対場で作り上げるサークルとして、母親の負担も多いですが、親子ともに良い経験となったと言えるサークル運営となるよう、リーダーの支援が必要です。参加者：延べ114人	
			地域の活動グループの運営のための研修会を企画・実施します。	研修会参加者数	・助けあい活動(ちよこっつボランティア)情報交換会。44名参加 ・健康講座。40名参加 ・支えあいの町づくり講座。99名参加	区社協	ボランティアグループ等の運営のための研修会等の開催	既存の団体が抱える課題を共有し、解決に向けた取組が進むよう、研修会等を通じて支援します。	【区社協】 ボランティアネットワーク活動分野別情報交換会を開催し、その内容に基づきミニ研修を実施します。また、助け合い活動の実務者を含めた連絡会や住民の支えあい助けあい活動を進めるためマップ研修等を実施します。	【区社協】 ボランティアネットワークの高齢者支援部会ではハマトレ講座を開催しました。また、地区社協向けには、「地域で支える子どもの居場所」、「身近な地域で支え合い」研修を実施し、地域の中での支え合いの大切さを共有しました。関係機関職員向けには「地域アセスメント研修」を開催しました。
現在活動している人が地域の中心となり、より一層活躍できるよう、様々な地域の課題を協力し合いながら解決する力を身に付けるための講座を開催します。	講座の開催	6回開催 参加者27人(実人員)	泉区まちづくりみらい塾／市民セクターよこはま／区政推進課(地域力推進担当)	泉区まちづくりみらい塾	対象：既に地域活動をしている人やこれから始めたい人など 内容：活動現場の訪問など、実際の活動に触れることで、それぞれの人、地域に合った、より良い地域づくりのための方法を見つけます。 地域で取り組んでみたいことを「マイプラン」として作成することで、実際の活動につなげるきっかけとするなど、実践的なプログラムを実施します。	【地域力推進担当】 地域活動の活性化や継続して活動を続ける力を身につけることを目的に、地域の活動者の協力を得ながら、地域づくりのための講義、泉区を知るまち歩き、活動の場訪問(区内外)、私のまちの「マイプラン」の作成など、6回連続講座を開催します。	【地域力推進担当】 第1講：8月26日 開講式・講義・交流 第2講：9月23日 まち歩き・マップの作成 第3講：10月28日 卒業生パネルディスカッション・現地見学会Part1(区内) 第4講：11月18日・25日 現地見学会Part2(区外) 第5講：2月3日 現地見学会(第4講)の振り返り、私のまちの「マイプラン」を描く 第6講：3月3日 マイプラン発表、卒業式 申込者：21人 まち歩き(第2講)で地域の様子や課題を知り、現地見学会(第3講、第4講)では実際に活動している現場を見学、活動者の話を聞くことにより、課題解決の具体的な方法を知り、ノウハウを得ることができました。これらの学んだことを参考にして、自分の地域の課題を解決するためのまちづくり計画「マイプラン」を作成し、卒業式で発表し共有しました。まずは小さなことから地域活動に参加し、無理のない範囲で社会貢献しながら、心身ともに一生健康でありたいという気持ちを持った受講生が多く、本講座が地域活動に参加するきっかけづくりになったと思われます。 まち歩き(第2講)では、泉区民にもよく知られていない泉区の魅力を再確認できた貴重な機会でした。「泉区の魅力を肌で感じることは泉区に住み続けてみたい」と感じる良いきっかけになったと思われます。			
地域活動に関心を持っていただくために、区内の地域活動を区内外の市民にホームページや事例集を通じ、効果的に発信します。	地域活動の事例紹介	—	区政推進課(地域力推進担当)	「泉区地域活動の事例集」の発行 「泉区地域活動の事例集」のホームページ開設、公開	対象：既に地域活動をしている人、地域活動に関心があり、身近に行われている地域活動を知りたい人など 内容：区内で活動されている取組を紹介し、地域活動への参加のきっかけづくりを行います。多くの方が地域活動に参加することで、生きがいを持ち、年齢を問わず、心身ともに健康な生活を過ごすことのできる社会を目指します。	【地域力推進担当】 泉区内12地区の内、6地区の地域活動を取材、開設予定のホームページに取材内容を掲載します。 また、並行して事例集を作成し、区役所内、区内の施設等で配布し、地域活動の魅力を区内外の市民に発信していきます。	【地域力推進担当】 ・6地区地域活動取材を実施しました。(和泉中央地区、富士見が丘地区、上飯田地区、上飯田団地地区、中田地区、しらゆり地区) ・平成29年11月に過去の事例も併せて閲覧できるホームページ「泉区 地域の事例集」を開設し、順次取材した事例を掲載しました。 ・平成30年3月に事例集「泉区地域力 継承 KEI-SHO 一心合わせて」を発行し、泉区庁舎内、地域ケアプラザ等に配布しています。また、取材した地区の区民中心に配布し、好評をいただきました。 本事業を通じ、地域に暮らす誰もが生きがいを持ち健康に過ごしていくことのできるまちづくりを目指し、今後も地域活動に関心を持つ人を増やしていくための取組を推進していきます。			

の推 柱進	項 重 目 点	名 取 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	29年度 実施計画	29年度 取組結果					
3 地域活動への参加がすすむまち	1 地域活動の担い手を養成する	3 活動が継続するための支援	各種講座の終了後に自主活動のグループ化につながるよう、活動グループの立ち上げや、運営方法等の支援を行います。	グループ数、参加者数	【高齢者支援担当】 継続2か所 新規6か所	区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	元気づくりステーション	高齢者が歩いて行ける身近な場所で、健康で生きがいのある行動を目指します。	【高齢者支援担当】 高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指して元気づくりステーションを立ち上げます。平成28年度までに活動を開始した8か所が継続して活動します。 【ケアプラザ】住民が主体的に活動できるよう支援します。 (いずみ中央)元気づくりステーション「よくばりクラブ」の活動が円滑に継続出来るよう相談・助言を含む後方支援を行います。 (下和泉)元気づくりステーション「健康麻雀クラブ」の会場貸出し運営に関する助言・協力をしていきます。H27年度育成されたふまねっとサポーターとH29年度も連続講座を実施したりサロン等ふまねっと体験教室を開催していきます。H28年度終了したうた声サポーターの活動支援とサポーターとともにケアプラザでのうた声喫茶開催したりサロンに出張して歌をおして介護予防広めます。H28年度たちあがったノルデックウォーキングのグループメンバーを増やしていきます。 (新橋)ウォーキングや体操等新規講座開催後、アンケートに記入していただくことで、自主活動への参加意向を確認し、その後は自主活動へ繋がるよう支援していきます。 (踊場)すでに発足している元気づくりステーションの活動が継続的に行えるよう支援していきます。新たなステーションの立ち上げに協力し、地域の方が健康で生きがいのある行動ができることをめざします。 (いずみ野)地域で住民主体で運営している団体を把握と。介護予防の啓発を行い、元気づくりステーションの立ち上げができるように支援をしていきます。	【高齢者支援担当】 8か所の元気づくりステーションについては、企画や運営の助言等必要な支援を継続してまいります。 区・包括で実施している介護予防教室をきっかけとして、元気づくりステーション「おはなしポケット」がいずみ野エリアに立ち上がり、読み聞かせボランティアとして育成しました。読み聞かせの技術について学習し、地域の保育園等で活動をしながら、自身の介護予防にもなると楽しんでいます。平成30年2月～自主活動を開始しました。 平成30年4月から3か所の元気づくりステーションが活動開始の予定です。 (いずみ中央)元気づくりステーション「よくばりクラブ」を毎月3回継続的に活動を行っています。スクエアステップ・筋トレという中心メニューに加え、健康測定会、ロコモ予防講座、座式太極拳等の多彩なメニューを取り入れて活動できるよう支援を行いました。 (下和泉)ボランティア台帳の整理をし、最新の情報でボランティア活動や地域活動希望者に安心して活動していただけるようコーディネートできるようにしました。また窓口相談にも活用しています。歌声サポーターズが地域で活躍できるよう、地域のサロンなどに繋げるサポートをしました。 (上飯田)「健好クラブ」が円滑に継続できるような活動を支援しました。新たな発足に向けて支援し次年度は2グループ発足の予定です。 (新橋)健康畑ひまわりとふまねっとサークルの活動を支援しました。参加者数が20名前後と安定して行われています。 (いずみ野)平成29年に介護予防目的で行う読み聞かせボランティア養成講座を7回区が主催で開催。終了後(H29年10月より)に自主的な活動に移行し、平成30年2月より元気づくりステーションとして活動を開始します。現在月に2回活動し、1回は保育園での絵本の読み聞かせを実施しています。					
					地域活動の情報発信への取組					元気の出るまち泉連載 年7回	区福祉保健課	地区別計画の取組紹介(広報よこはま泉区版)	広報よこはま泉区版の地域福祉保健計画の連載をはじめとした、地域の取組を発信します。	【事業企画担当】 広報よこはま泉区版の「元気の出るまち泉」で、地域の地域福祉保健計画の取組を連載し、情報を発信します。	【事業企画担当】 広報よこはま泉区版の「元気の出るまち泉」コーナーに、年6回(7、11、12、1、2、3月)計画通り、住民の方々の協力を得てコラムを作成していただき、情報発信することができました。
					すきっぷ通信、メルマガの発信					・すきっぷ通信:2,000部/月 ・メルマガ:67本(月平均約6本) (2月末現在)	区子ども家庭支援課	地域子育て支援拠点事業	子育て支援に関する情報を拠点「すきっぷ」を通じて区民に情報発信を行います。	【子ども家庭支援課】 子育て支援に関わる取組についての情報を、拠点「すきっぷ」と共有しながら、メルマガやすきっぷ通信、WEBやSNSといった様々な媒体を通じて情報提供していきます。	【子ども家庭支援課】 市外からの転入者に向け泉区子育て支援マップの区役所窓口での配付を行いました。また、すきっぷ通信やメールマガジンを配信しました。(すきっぷ通信12回、メールマガジン約8回/月)
					イベントをきっかけとした取組					—	区福祉保健課	地域福祉保健計画推進イベントの開催	地域の福祉保健活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【事業企画担当】 第3期泉区地域福祉保健計画の周知および地域活動について紹介を区民ホールにて行い、地域活動の参加につながるきっかけづくりになるよう活動発表会も開催します。	【事業企画担当】 第3期泉区地域福祉保健計画推進イベントでは、「地域活動のススメ～はじめの一步～」をテーマに開催(2月20日～22日)。パネル展示やボランティアセンターや薬剤師会などのコーナーでは、地域の様々な活動や関係機関を紹介し、約270名の方が参加。アンケートでは、「少しずつでも何かに携わっていただけると思いました。」「色々な地域で活動があることを知りました。参加できればと思いました。」「という声や次年度も開催を希望する声もあり、地域活動を知るきっかけとなったイベントを行うことができました。」「道草したっていいじゃない～人生のゆるやかな歩き方」をテーマに、活動団体による発表と講師による講演会を開催。区民、関係機関等、80人の参加があった。「地元の大切さを感じた」「人生100年を考えるための地域での居場所の大切さを改めて思った」等、地域とゆるやかにつながり心地よい地域活動について考えていただく機会になった。
2 地域の活動に関心を持つ人を増やす	2 地域を知るきっかけづくり	報1 発信 地域情報や活動に関する情報	地域の状況や行われている活動が的確に伝わるよう、対象や内容を明確にしなが、様々な媒体を活用した情報発信を行います。	イベントをきっかけとした取組	—	区福祉保健課	健康づくりイベント	地域の健康づくりに関わる活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。 【健康づくり】 ・「みんなで健康アップ!フェスティバル」(6/2) ・区民ふれあいまつり(11/3) ・地福イベント(2月実施)	【健康づくり係】 生活習慣病予防・がん検診・歯科衛生・禁煙・食育などについて、保健活動推進員及びヘルスメイトと連携して、区民の健康づくりに幅広く啓発や意識の向上につなげることができました。						
			地域の活動を知り、参加するきっかけを作るため、地域の活動を周知するためのイベントを企画・開催します。	イベントをきっかけとした取組	—	区福祉保健課	健康づくりイベント	地域の健康づくりに関わる活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【健康づくり係】 生活習慣病予防・がん検診・歯科衛生・禁煙・食育などについて、保健活動推進員及びヘルスメイトと連携して、区民の健康づくりに幅広く啓発や意識の向上につなげることができました。						
			地域の活動を周知するためのイベントを企画・開催します。	団体活動を知るきっかけづくりの取組	・拠点利用懇談会2回開催・66名参加 ・ボランティアフォーラムの開催188名参加	区社協	ボランティアフォーラム等のイベントの開催	ボランティアネットワーク等のイベント開催への協力や、社会福祉大会等での発表等、団体の活動を周知し、参加するきっかけづくりを行います。	【区社協】 ボランティアフォーラム実施に協力してボランティアのすそ野を広げます。また、ボランティアネットワーク広報紙発行に協力します。	【区社協】 拠点利用者懇談会を2日間開催し、約70団体が参加して、情報共有を図りました。ボランティアフォーラムでは200人を超える参加者があり、今後の活動の充実に向けて交流や情報交換を行いました。 第3期泉区地域福祉保健計画推進イベント開催期間に合わせ、区役所ホールで出張ボランティアセンターを開設し、ボランティア活動のきっかけづくりに取り組みました。					
関心の高い事項や、地域でどのような活動が求められているのか等を的確に把握するため、幅広い区民を対象とした調査を実施し、ニーズに合わせた講座等を企画・実施します。	ニーズ把握のための取組	H26年度区民意識調査	—	区民意識の変化を測る調査の実施	26年度に実施した区民意識調査の推移をみるための調査を継続実施します。	—	—								